

# 京古本やはは

## フェルメールと地図

織田武雄

十七世紀はレンブラントとフェルメールに代表されるオランダ絵画の最盛期を迎えた時代であった。しかしレンブラントとフェルメールはおよそ対照的な巨匠であったと云える。レンブラントは晩年は不遇であったが、早くから不朽の名声を博し、六三歳で没するまでに、今日でも約六〇〇点の油彩画と、多数の版画やデッサンを遺している。これに対して、フェルメールに正当な評価が与えられたのは、ようやく十九世紀半ばになってからであり、それにきわめて寡作で、レンブラントのような大作もなく、三五点の作品が現存するのみで、四三歳の若さで没した。

光の画家とよばれるレンブラントは、光と色彩が完全に融け合い、闇にまで暖かく息づく独特の明暗が、美事を諧調を示している。これに対して、フェルメールの作品の大部分は、一人か二人の人物を配した家庭内の日常生活を対象とし、窓からさし込む明るく澄みきった光と、微妙な色彩の調和の中に、しつとりとした情趣と静謐感のあふれる室内空間が描かれている。

もちろん、美術史家でない私は、フェルメールを論ずる知識は有していないが、ただ、フェルメールの作品には、大きな掛地図を描いたものがみられるので、これについて少し融れてみることにした。

その一つとしてここに示したのは、フェルメールの比較的初期の作品の「兵士と笑う娘」である。テールをはさんで笑顔の娘と向いあつた兵士のシルエットと、窓



フェルメール「兵士と笑う娘」

からの光を受けて輝く背後の壁とがコントラストをなし、壁にかけられた地図が壁面の白さと単調をやわらげている。画面の地図はフェルメールの克明な写実の技術によつて、きわめて正確に描かれ、地図の上部には「全オランダおよび西フリースラト精密新図」とラテン語で記された表題が読みとられ、この地図がベルケンローデによつて作成され、一六二一年からブラウによつて刊行されたことが知られる。

季刊  
第35号  
京都古書研究会  
発行  
〒604 京都市中京区  
東洞院六角上ル  
京都府古書籍商業協同組合内  
振替 京都 0-22132  
年間購読料 500円  
送料 (送料込) 150円  
頒価

またフェルメールの代表作と云われる「画室の画家」では、アムステルダムをはじめ二〇の都市景観図が側面に付加されているフィスカリーのやはりフランドル地方の掛地図が、「リユートを弾く女」ではホンダイウスのヨーロッパ全図が用いられているが、フェルメールのほかにも、ポイチウエックやオクターフェルトなどの室内画にも掛地図が描かれている。

それではなぜこの時代の絵画に限つて、このように掛地図がモチーフに選ばれたのであろうか、十七世紀初頭には、オランダ共和国は長年のスペインの支配から独立したのみならず、スペインに変わつて、イギリスとともに世界の七つの海に進出し、鎖国時代のわが国も長崎出島のオランダが世界に開かれた唯一の窓であつた。したがつて新聞のなかつた当時は、世界の新しい情報や知識を伝えるマス・メディアは地図であつたので、十七世紀のオランダは地図においても黄金時代を迎え、多数のすぐれた地図作成者や出版者が輩出し、また新興の市民たちの居間や客間には、絵画とともに、何枚もの地図を貼り合わせて美しく筆彩された掛地図が飾られ、海外制覇の夢をかき立てたのであろう。

それは近世初頭、わが国で南蛮人の渡来とともに、世界への憧憬をこめて、多くの世界図屏風が描かれたのと同じである。

### 今年もどうぞよろしく..... 京都古書研究会加盟店 .....

- 赤尾 照文堂 (中京区河原町六角下ル 電話二二一五八)
- 石川 古本店 (東山区南禅寺 電話二二一五九)
- 井上 書店 (左京区田中町一〇二五 電話二二一七〇)
- キクオ 書店 (中京区河原町三三三 電話二二一七二)
- 其 中 堂 (中京区河原町三三三 電話二二一七二)
- 京 極 堂 (中京区河原町三三三 電話二二一七二)
- 沢 田 堂 (上京区河原町多田上ル 電話二二一七三)
- 三 密 堂 書店 (上京区河原町多田上ル 電話二二一七三)
- シルヴァン 書店 (上京区河原町多田上ル 電話二二一七三)
- 大 善 堂 (上京区河原町多田上ル 電話二二一七三)
- 竹 網 書店 (中京区馬場町小倉上ル 電話二二一七四)
- 谷 方 書店 (下京区堀内町 電話二二一七五)
- 東 山 書店 (下京区堀内町 電話二二一七五)
- 外 山 書店 (下京区堀内町 電話二二一七五)
- 萩 山 書店 (下京区堀内町 電話二二一七五)
- 福 田 書店 (上京区河原町多田上ル 電話二二一七六)
- 藤 井 文政堂 (下京区堀内町 電話二二一七七)
- 文 庫 堂 (下京区堀内町 電話二二一七七)
- 文 藻 堂 (下京区堀内町 電話二二一七七)
- 八木 書店 (中京区河原町多田上ル 電話二二一七八)
- 山 崎 書店 (中京区河原町多田上ル 電話二二一七八)
- 臨川 書店 (大津市 電話二二一八九)

しかし掛地図は褪色が著しく、また破れやすく破損しやすいため、フェルメールに描かれたような掛地図で現存するものはきわめて少ない。  
ただわが国では出島のオランダ人から幕府に献上されたブラウガ

一六四八年に作成した世界図の美しい掛地図が二幅あり、新井白石が潜入切支丹シドチの訊問にも用いたと云われ、幕府で保存されていたため、本国ではすでに失ってしまったが、幸い東京国立博物館には現在でもそのまま所蔵されて

いる。  
筆者紹介 京都大学名誉教授(人文学部) 地理学・古地図に関する著書多数あり。

### 私の蔵書から

#### —古書発掘ノート—

竹居 明 男

(一) 私の古書収集は、小学生高学年、毎月ないし毎旬定まった日に開かれる露店での、少年雑誌あきりに始まった。中学から高校のはじめ頃までは、その対象が航空雑誌に移っており、二、三の古書店にも足繁く通うようになった。そして大学、大学院で日本文化史を専攻するようになってから、今日に至るような多方面にわたる古書発掘の旅が始まったのである。  
幸いにも「職業としての学問」の道に進みえて、幅広い目配りを要求される文化史研究を志している私としては、当然ながら価値ある古書の発掘を欠くことはできない。そして、一冊の古書にまつわる喜怒哀楽(いわゆる掘り出し物を見つけたら、欲しい本の注文に

連れて他人にとられたり、等々)は、未熟な私でもそれなりに経験し、その時々々の記憶が今も鮮やかによみがえる書物も、蔵書中には二、三にとどまらない。同好諸氏ならば多かれ少なかれ味わう、そうした感情の機微は、これまでも幾度となく先人によって語られてきたところであるし、ごく最近にも山下武「古書礼讃」の好著がある。大方はそれらに譲るごととして、ここでは、貧しいながらも私の仕事に多少とも関わる古書を中心に、書架から抜き出して眺めてみることにしよう。

(二) 私の大学院修士論文は日本の地獄・六道絵をテーマとしたものであったが、もう十年余り前の論文執筆中に、京都市内の某店で福井利吉郎『六道絵巻解説』(昭6、大和絵同好会)を見つけたことがあった。しかし、これは絵巻のコロタイプ複製に付されたものであって、私ごときの入手はもとより不可能であった。そこで私は思いきって、その冊子の借用方をお願いしたところ、実にあっさりとして御主人は許可して下さいたのである。ただし、もう複写機も普及していた頃だが、造本上その使用は許されなかった。私には三日ほどかかってB5判ノートにびっしり五〇頁余り、全文を手写したのであった。後にも先にも、このような経験はないが、手もとに残るノートを見るたびに、ありがたさを感じてみる。

(三) 京都の民間学者藤原貞幹(略称、藤貞幹)伝の執筆に際しては、準備はじめた途端に、彼の書簡集を収めた「日本芸林叢書」第九巻(昭4、六合館)を奈良の古書店で求め、拙文公表の直後には貞幹の『好古小録』(寛政7)を廉価で入手するという幸運が重なった。また、有名な「鳥獣戯画」などの筆者と伝えられる鳥羽僧正覚猷の伝記研究では、もとプロ野球選手の経営と聞く東京の某店で見つけた『芸苑巡礼』なる豪華同人雑誌(昭4、芸苑巡礼社。ただし第一冊のみに終わったか)中の、研究史上埋もれた一論文が大きな手助けとなったことも、忘れられない。ちなみに手もとにある雑誌の珍品としては、他に『陽明』第1輯(昭22、福村書店)、『学芸』第32号(昭22、秋田屋)がある。前者は、木版多色刷りの口絵(近衛予楽院筆「花木真写図」一葉を巻頭に貼り込んだ、陽明文庫編集の豪華雑誌であり、後者は五〇頁たらずの小冊ながら、正倉院特輯と銘打って珠玉のごとき好論で全頁をうずめている。

(四) 藤岡通夫「京都御所」(昭31、彰国社)は、多数の未刊史料を駆使した、数多い類書中の最高峰の一つと私は考えるが、この本にも鮮やかな記憶がまわりついている。数年前、私はこの本を、あるいはつけまわがいかと思われるような三千円という破格の値段で入手したが、その後別の店で、しかも同じ三千円でもう一度見つけたことがある。さすがに後の場合は念のため値段の確認をしたところ、「安いんだから文句はないでしょ」と、逆に主人にどなられてしまった。あとの一冊は知人の手もとに移ったが、その後この好著は、実物はおろか販売目録でも一度も見かけたことはない。

(五) 少数数の限定版を集める趣味は私にはないが、それでも偶々の機会に、多少珍しいものも手もとに集まった。まずは稲庭正義「若狭(国)志」。同地出身の伴信友が丹念に書き入れを施したものを底本に、付箋の状態なども忠実に複製した二冊本で(昭46、若狭学術振興会)奥付に「限定50部」とあり、かつ第1号の印が捺されてある。次に和装の塩田敏郎「懸佛年表」(昭12、芝蘭房)。限定100部で、架蔵本は第18番。紀年銘のある懸仏を編年順に配列し、銘文の原文を中心に計二三五点を収載する。近刊の斎藤忠「日本考古学史辞典」をはじめ、管見の限りでは、懸仏研究の参考文献としてこの書を掲げているものは一つもない。もとより、今日の研究水準からいっても、これだけで十分と言っても言えないにしても、この分野での先駆的な業績としての地位は、やはり失なわれないうであらう。  
もう一点、「正倉院の研究」別冊をあげたい。これは、昭和四年に創刊をみて一世を風靡した雑誌「東洋美術」(奈良飛鳥園刊)の特輯号『正倉院の研究』の別冊として製

作発行された。限定300部。大型上製の帙に、宝物等の焼付写真及び拓影コロタイプ三十数葉のほか、宝庫の青焼函面二枚、それに明治八年東大寺大仏殿廻廊における宝物陳列目録の原寸大複製七枚を収め、資料価値に富む。一点ごとに製作の日付が入れてあり、架蔵本は昭和四年十二月三十日になっている。今日『東洋美術』の揃い(通常号二五冊、特輯号八冊の計三三冊)は目録などでもしばしば見かけるが、この別冊はまさに希覯に属するのではあるまいか。

(六)

現住所に近い故もあって、よほどのことがない限り必ず覗く北野天満宮縁日の露店(毎月25日。本誌第17号参照)でも、しばしば掘り出し物に出合う。中にはビニ本の類を堆く積んである店もあるが、真昼間、勇を鼓してそれらを膝でふみつけ、その彼方に手を伸ばすと、思いがけない書物を格安で入手できることがあるのである。架蔵のものでは『稿本日本帝國美術略史』(明34、農商務省)千円、稲村修道『禪林寺誌』(大2、法蔵館)五百円、東洋文化協会『幕末明治文化変遷史』(昭5訂正増補版、大阪時事新報社)及び続篇(昭8、京都日日新聞発行所)計二千五百円、今日なお名著の誉れ高い川上多助・桜井秀『綜合日本史大系・平安朝史』上1下2(初版大15

及び昭14、内外書籍株式会社)計四冊三千円といったところが、ここでの主な戦果である。

とりわけ劇的(一?)であったのは、團圓珍聞や京都日出新聞の創刊時以来の美術・文芸担当記者をつとめた金子静枝(錦二)翁手製のスクラップ・ブックとの出会いである。忘れもしない昭和五十五年八月の縁日に、金子の名さえそれまで聞いたこともなかった私は相当な高価でもあったので、実はさんざん迷った揚句にそれら五冊を購入したのであった。ところが翌日よりの調べで、明治時代の京都を舞台にした彼の多彩な活動が

しだいに鮮明に浮かんでき(ちなみに彼の生没は嘉永4(明42)、思いがけない展開に私じしん驚くこととなった。折りしも翌月に開かれた日本フェノロサ学会大会に持ちこんだことが機縁で同会に入会、翌年九月の大会では早速、それまでの調査結果をとりまとめて報告した。

以来、スクラップの内容の中で当初より最も関心のあった明治二十一年近畿地方古美術調査関係記事は(このうち『随行日記』は、翁じしんの筆になる当時呼物の連載記事であった)、改めてマイクロ・フィルムなども採用しながら五

年がかりで一応の整理公刊を終え(『博物館学年報』第13(17号)、この間、金子静枝その人についても種々の機会に私なりの顕影にこれつとめることがあったので、詳細は省くことにしよう。

ちなみに、わが国におけるスクラップの実行は明治二十三年に始まり、五年後にはスクラップ・ブックの市販が行なわれたという(紀田順一郎『読書の整理学』、石井研堂『明治事物起源』)。金子の場合は市販のものではなく、各冊数十枚の反故紙を二つ折りにしてこよりで綴じたものに丹念に記事を貼りつけているが、大半が明治十八

年から二十年代全般にわたる記事であるから、きわめて早い時期のスクラップの実物資料としても貴重なものと思われる。

不思議なことに、翁手製のスクラップはその後も私の目にとまることがあり、今は計八冊所蔵しているし、架蔵の栗原信充『法隆寺宝物考証』(昭7、龍谷大学史学会)が、金子の旧蔵本を孔版印刷したものであることは氏氏祐祥筆の跋文で知った。

それはともかく、こうした金子静枝関係の仕事を通して、前記フェノロサ学会をはじめ様々な環境のもとで学問的活動を展開しておられる諸先輩の御援助を得、かつ知遇を得るようになったことも、若輩の私にとって何にもましてありがたいことであった。一つの古書との出会いが、ひいては未知の人びととの出会いの機縁となった、古書発掘の思いがけない効用である。

(七)

なお架蔵本の中から愛蔵書をあげてみるならば、横山由清『尚古図録』二冊(明4(8)、太政官諫訳係『日本西教史』上巻(明11)、多色石版刷りの『国華余芳』三冊(明13、大蔵省印刷局)、フェノロサ『浮世絵展覧会目録』(明31、蓬板閣)、著作集未収の喜田貞吉『読史百話』(明45、三省堂書店)、山本隠倫・入田整三『増補尚古年表』

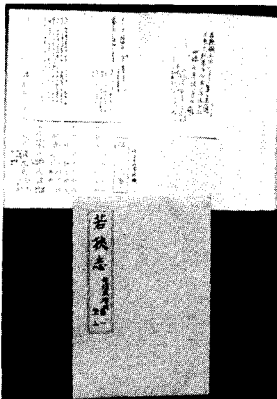
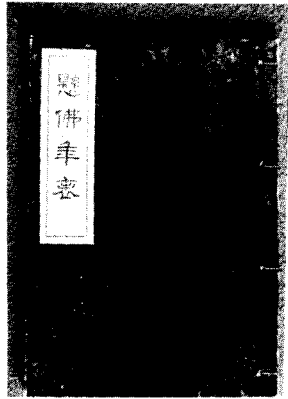


写真 (右上) 若狭志 (左上) 懸佛年表 (右下) 正倉院の研究(別冊) (左下) 金子静枝翁手製スクラップブック「薬利張」

(大14、吉川弘文館)、新村出『異国情趣集』(昭3、更生閣書店)、『文学博士三宅米吉著述集』二卷(昭4、目黒書店)、原勝郎の日本史関係著書・論文を集めた『日本中世史の研究』(昭4、同文館)、辞書『言海』で著名な大槻文彦の紀行文集『復軒旅日記』(昭13、富山房百科文庫)、今春聴(東光)『順徳天皇』(昭18、有光社)、村山修一『中世日本人の宗教と生活』(昭23、目黒書店)等々があるが、もはや紙数も尽きかけたので、これらについてはまた別の機会をまつこととしよう。

私の古書発掘は、今では年間数十冊到来する古書店の目録にたよる度合いがだいに高くなってきている。だが、目録を通じての購入は、すでに何らかの知識をもった書物にはぼ限られるのに対して、店頭、即売会、そして私の場合は露店をもこまめにまわって実物を手にとり、未知の書物と出会ったときにこそ、本当に書物の世界の底知れぬ深さを実感させられるのである。古書の世界こそ、私にとっては何卒業のない大学であり、そこで学ぶ一学徒としての発掘の旅は今後もとどまることはないであろう。古書との出会いが、人との出会いにつながることを念じながら……。

同志社大学文学部助教授(日本文化史)

## 「ベニスの一週間」 I・L・A・B(国際古書籍商連盟)の コンGRESと古書展を振り返って

シルヴァン書房 岸本征夫

二年に一度の加盟国持ち廻りで開催されるこの催しが今回は九月十四日(二十一日の会期でベニスで行なわれた。日本からはI・L・A・Bの傘下団体である日本古書籍商協会(A・B・A・J)から会長中尾氏を団長に東京の北沢書店、大塚書店、雄松堂や京都のキクオ書店など十名が参加した。

アドリア海に浮ぶ水の都ベニスの九月の気候は絶好の観光シーズンの、気温も穏やかで、雨も会期中に一度バラついた程度であった。

十三日夕刻、ミラノより列車でサンタルチアに着き、ベニスに渡った。正に水の都であり、乗るものはバス、タクシーの名こそあっても全て船である。又、ゴンドラ

がその間を縫ってひっきりなしに往来をしている。橋は殆んどアーチ型に造られて聞くところによると百五十の運河を四〇〇の橋で継いでいるとの事。街並みもその橋によって迷路の様に入り組んだ露

路と広場の連続で、中世そのままの家の造りであり多くは一階部分

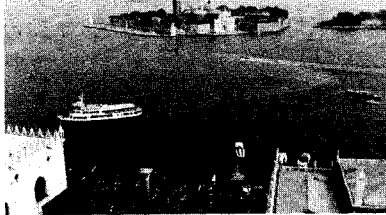
が半分位、水中に没しており、水辺に向う玄関はまるでプールに降りる階段の様に上部だけを表わしている。毎々僅かずつ沈んでいくと聞く、サンマルコ広場の周りを囲むロマネスク期、ビザンチン期、ルネッサンス期と続く中世の建造物は全く素晴らしい景観である。それを中心として四方にめぐらされた古い露路裏も中世の衣裳の一团

がひよこつと姿を現わしても不思議でない趣きがある。自動車どころか自転車の一台中も見出せない。音と云えば教会の鐘の音と霧笛、そしてサンマルコ広場の中央に向い合っているカフレストランの楽団の奏でる曲の音であり、ゴンドラの船歌である。そして終日絶えない人の群れ、観光の都、古都ベニスである。

十四日の登録受付は市街南部の入江に面するホテル、ゲニエルで行なわれた。夕刻には、そのホテルの近くの小邸で歓迎パーティが催され、各国より多くの古書店が集い旧交を温め合った。

翌朝はいよいよ会議の始まり、サンマルコの波止場より直ぐ前に浮ぶサンジョルジョ島に渡る。中

尾松泉堂の中尾会長らが会長会議に出席の為、会場に向われた后、他は島内を散策待機をした。島では丁度「バルナルド ベロツト展」と「イタリヤに於けるゲート」展も行なわれており、会議后、全員でそれらの展覧会を見学。ゲート展では二回に渡るゲートのイタリヤ紀行の様子が手にとる様に分かる展示であり、分献も多数紹介されていた。そして特別に稀覯本の見学も用意されて居りベネチア版の兵法学、会計学書やインキユナブラが展示されていた。



島でサンジョルジョで行われた会議

芝生に日傘を張つての昼食会の後、全体会議が始まる。各国の書店が、相互の意見を述べ、会の運営や付加価値税の問題、盗難書事件等々各国の事情が述べられて云た。そして四年後の一九九〇年には日本でのコンGRESを行ない

度い旨も発表され、多に各国の

参同を得いた。

十六日はサンマルコ広場の南端にあるマルチアナ国立図書館見学で始つた。一階閲覧室には既に多くの学生が学習をしていた。館の司書の説明を受け乍ら二階を見学。次に広場の他の一角にある「ル・コルビジエ展」を観る。斜横の館では「クレイ展」が十月より始まる予定である。午後は有志参加のツアーがあつたがやや体調を崩した小生は参加しなかつた。夕刻ラ・フェニス劇場で、ピアノとオーケストラによるコンサートがあつた。全員、ブラックタイやドレスに身をかため、静かに聴き入っている。続いて、パウアーホテルで夕食会となつた。

続く十七日もグラツィン館での「フューチャリズム展」を観る。この展覧会も我々の為に特別に会期以外に開館されたもので、イタリヤの古書店界の力入れ様が並々ならぬものと感心する。イタリヤ国内の作家のみにとどまらず、ロシアン・ヴァンギヤルドも含む大展望会で、分厚い豪華なカタログも発行されていた。最近は何の美術展の目録が制作に相当の期間をかけた資料として充分役立つ物となる様心掛けられている(詳しくは美術手帖12月号参照)。通り見終つた后、外に出ると今度は近くの波止場より島巡りの出発である。先ずミラノのガラス工場を見学。昔ながらの吹きガラスの巧みな手

度い旨も発表され、多に各国の

技に驚嘆、又、工場内に飾られた製品の数々の鮮やかな出来栄を堪能した。続いてブラノ島に渡る。嘗ては漁村として盛えた島も今は僅かな人口が住んで居るのみとの事。島の教会にはビザンチン期と思えるモザイクと木の聖像が見られる。床下のタイルの所に一ヶ所切り込みがあるので蓋をとってみると数十センチ下に、修復以前の古い時代の床面のモザイクが在った。

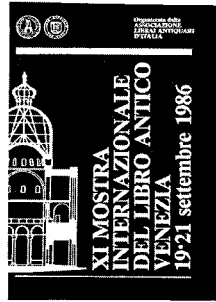
島を去り再びベニスに戻り、いよいよその夜はファイナル・バンケットである。又礼服に替え対岸のピサニ・モレッタ邸に向う。

テーブルの予め決められた席に坐り、卓上の山海の珍味を味わいながらゆつくり会食をする。

イタリア古書籍会長のローマのV・サオヴェ氏の挨拶に始まり、各国の会長が続く。中でもILAB会長、デンマークの古書店主、物静かな紳士であるH・パツガー氏が流暢な英語で、遠路を参加した日本を歓迎され、尚一九九〇年の日本でのコングレスの開催を喜んで居られたのをメンバーの一員として嬉しく記憶している。

十八日、ブックフェアが夕刻より始まる。今回は英国の百ブリス以上の大即売ではなしに、三十ブリスの小じんまりとした会場であつて、又出品書籍もイタリア、フランスを中心とするラテン系の書店が多かつた。博物館書、科学書、

宗教書の古典書と版画や地図・写本類も多くを展示していて、価格も高価なのだが、それでも活発に取引がされていた。又各々の書店は立派な目録を出している。中に一店、文学関係の美装幀初版本を展示している書店があつたので小生はそこで十数冊を買入れる。リ



ヴェニス・ブックフェアの総合カタログ

ヨンの書店がデイドロの百科全書初版の良コンディション一揃を比較的安価にカタログに載せていたので目的にしてブリスを訪れたが一足先に売約済で残念であつた。リチュタリオの兵学書等古版本の図版は仲々面白いが日本の需要等を考えると二の足を踏むばかりであつた。やはり小生の取扱う美術書は少なかったたのでパリでの仕入を楽しみに、今回は見学に留め、会場を後にした。

会期を一日残して、我々一行十人は揃ってベニスを二十日の朝に出発、パリへ向つた。折柄、パリはテロ騒ぎのニュース。G・ペリニーヤカナレットの名

画そのままのたたずまいと平穏を残すベニスから一転、現実の喧嘩の中へ……。

一僅か一週間に多くのスケジュールがあり、旅の想い出も只行事の列挙に留まつて了つた様です。

お許し下さい。一

ILAB加盟店名簿

一一九八六年新版一を限定販売

ILAB (国際古書籍商連盟) に加盟する十七カ国の古書店の新しい名簿がこのほど発刊された。変型B6判・八四二頁、各国の都市別に連盟加盟の書店の住所や専門分野が記載されており、巻末には専門分野別の索引も付いている便利なもの。これは会員用として作られたが若干部余裕があるの

「サンパル古書のまち訪問」

竹岡書店 竹岡 忠 郎

永年臨川書店の古書部長であり古書研の中心メンバーであつた久保田厚生氏が独立。神戸三宮に五車堂書店を開店した。12月2日オープン。早速古書研会長の大杉書店と石川書店それに天津の大杉書店と連れだつてのぞきに行った。何んだかしれぬがしきりに心が浮き浮きとする。あの久保田君がどんな店をもつたのだろう。エレベ

で会員外にもお頒け出来る。一部七五〇〇円(送料三〇〇円)お申込みは当京都古書研究会

のキクオ書店、シルヴァン書店、臨川書店へ。

ABAJ主催

第4回「世界と日本の古書」

展示 大即売会

一同時併催特別展「百万塔と陀羅尼」一

会場…大阪・阪急グランドビル26階

会期…昭和六十二年二月二十七日(金)十一時〜十九時

二十八日(土)十一時〜十九時

三月一日(日)十一時〜十七時

- 出品店合同目録発行
- 特別講演会

「百万塔と陀羅尼の謎」中根 勝氏 (日本印刷学会)

お問合せは キクオ書店、シルヴァン書房、臨川書店へ

離されてしまふ。しかたなしに店外へ出る。

五車堂書店の入口は大きなウィンドがあり、そこには主に自筆物などが並べてある。ところがそれをじっくり見る間もなく、お客さんが買い上げて行く。店内に設置された特注の傾斜棚には古書籍が見易く並べてある。店主の苦心のほどが分かる。両側の棚には外国文学、学術書が並べられている。向かい側の間島一雄書店のウィンドには竹久夢二の初版など高価本が並んでいる。また国際港神戸らしく和本を中心とした対外交渉史の本やご主人のお得意の兵庫県の

郷土史にその特徴があらわれている。この店の反対側には図研がある。この店に一步入るとタイムスリップして大正、昭和初期の時代まよいこむ。そこには懐かしいボスタ、道中手形、おもちゃ等々、庶民の店と云う感じで、楽しさ一杯である。清泉堂倉地書店は同まちなかでは全集物がよく揃っている。昭和堂書店は古い雑誌、カメラ系統のものが多く、お書籍編



ウインドウ前に立つ

五車堂主人 久保田厚生氏

「まだまだこれから」とは言いながらすでに良書がずらり

牛は児童書、一般書、山口書店も一般書が中心である。ロードス書房は博物学的な本、動植物的なものが並んでいる。人・人・人に押されながらともかく一回りして見たが、どの店も自分の分野を伸ばそうとする努力がうかがえた。しかし恒久的にお客さんを引き付けるにはただ、店舗だけの繁栄では5階と云う地の利の恵さから難しく、これからは全員の努力、団結

が必要となるであろう。また個々の店が専門店化するにも、お客さんの傾向、ニーズ、良書の仕入等と問題は多くあることと思う。これからのがんばりをお客さんと共に注目して行きたい。同ビルの7階には多目的ホールもあり、五月

聞きがき

「昭和古本販売史」(六)

古本消毒令

軍靴の響きが高まるにつれて、古書の世界にも各種の統制や規制がひかれるようになってきた。その一つに「結核予防国民運動」がある。当時結核病は亡国病として最も恐れられた病気であり、戦時体制を整えつつある国家にとってこの感染には相当の神経を使ったのは当然である。しかしそれが古本まで憎まれたのだから厄介なことになった。

京都では昭和十四年、京都府警の衛生部より、府令に基づいて古本の消毒が命ぜられたのである。結核予防の国民運動の具体策の一つとして、これより四、五年以前に府議会で古本を消毒させる件を議論し、府令として発布させてはいたが、当時それを実行させる消毒機関もなく、有名無実の法令であった。ところが先ほどの衛生

に年一回の即売会も予定されているという。また共同で古書目録も発行される気配も十分ある。

大阪、神戸と続いて古書のまちが誕生した。いつの日にか、京都にも「古書のまち」誕生の思いを持って神戸三宮を後にした。

部の職員のOBが消毒会社を設立し、その会社を利用することによって府会の実施が可能となったわけである。

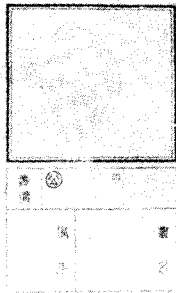
さてこれを受けた古書業者の対応について、当時古書組合の会計部長として奔走したキクオ書店の前田菊雄氏が「京都古書時報」第一四二号に述懐しておられる。

「単価は忘れましたが、在庫の古書と毎日仕入れた書籍を全て消毒するとなると膨大な費用でとても受け入れ難く、府会議員に理事長(文栄堂田中源太郎氏)共々陳情に行き、色々対策を練ったものの名案もなく、まったくのお手上げの状態でした」

当時の組合機関誌(公認京都組合誌・昭和十四年度後期)にも、「某博士の言にも「日光消毒が或る程度迄の結核予防上に於ての

効果は充分認めらる、」と反論してはいるもののどうやらお上からの圧力は強かったようである。そこでその後の顛末について前田氏はつぎのように続ける。

「ところが、今は亡き組合員のE氏が現在は京都市立病院となっている五条御前の伝染病の隔離病院で患者の衣類を熱気消毒している処があるのを知りつけて来ました。そこで我々の古書も消毒していただくことを決めましたが府の方がなかなかウンと言はず仕舞いには府と市の対立にまで事がこじれる始末。やと折がついて市の病院で消毒すると決まったものの今度は府より、消毒済みの本には密封封緘せよと言つて来ました。それもお千度の結果、消毒済を示す証紙を貼ることで結着がつかまし



消毒済みの本からはがして良書に貼られたという「消毒済」の証紙

たが、さていよいよ実施となるや大変で、組合では五、六人の人夫を雇い、荷車で毎日組合員の店を廻って本を集めさせました。これらを密閉した部屋に入れ、ホルマリンの蒸気で消毒するわけですが、

こんな消毒をまともに本にされてはたまりません。もう時効なので白状しますが、まずツブシ(故紙にしてしまう類の本(編者注))の類をとりあえず消毒してもらい、それに対して発行された証紙をまともな本に貼ることでなんとかごまかしておりました。とは言っても各店より集められた本をまず日方につけて、それに一冊ずつ手に入れた証紙を貼るというめんどうな仕事我每天続きました。消毒費はこの日方によって組合員より徴集することになり、だいたい月額二、三円から五十円でした」

前田氏が述べた消毒済みの証書は上の写真のようなタテ六cmヨコ3cmの紙に「ナフタリン消毒済」という赤いスタンプが押されている。今でも裏見返しにこれらの貼布された古本が見つかることがよくある。結核撲滅の国家の折りが聞こえてくるが、こんなところにまで官憲の規制が強いられた戦時体制の厳しき、恐ろしさを知らされる思いである。

こんな珍事はいよいよ世界大戦に突入と共にそれどころではなくなり自然と廃止されてしまったようであるが、その年月は定かでない。

軍時国日本は古書の価格にも統制を強いてきた。公定価格制度である。これについては次回で述べよう。

(キクオ書店 前田 司記)

古書研だより

古書研の春は  
総合目録の準備から

外山書店 外山 猛

我々、京都古書研究会の春のイベント「勸業館古書大即売会」の前に発行してきた「特選総合古書在庫目録」も昭和五十七年の創刊よりすでに四冊を数える。

本年も四月十五日発行に向って会員一同、最後の取書作業を続けています。第四号の反省にあたり在庫品目録から取書品目録となるべく、この一年間鋭意取書に努められたく協力を求めました。

我々、編集部としても第五号の準備に入るにあたり、既刊四冊の見直し作業を始めております。

四回分に掲載された目録点数を夫々の分野ごとに一覧表にしたものが下記の表です。その点数を参考に編集部のお感を述べてみたいと思います。なお文字と古典籍に大きく激少が見られますが前者は二号にて全集、初版・限定版に、後者は三号、四号にて名勝図会、唐本等に細分された為です。

さて写真版です。和洋書を問はず急増しています。費用は一頁二万円弱掛ります。一余談ですが本編では一頁三四〇円で、頁四十二

点掲載出来ませうこれは会員のレベルの向上とともに高価本の取扱の増大と写真版目録に適した商品（たとえば、枚物及び生資料）への高需要だと思えます。この分野の充実の為、外国に仕人に行く会員も数名います。今後とも質・量とも一層充実していくでしょう。販売成績も好です。つづいて京都・滋賀関係ですがこれも急増している分野です。一

部郷土史関係の復刻の為、掲載点数をふくらませている傾向がみられますが、京都目録らしく射た編集と大変好評です。今後ますますの増大が予想され「小見出し」附の編集も検討しています。掲載品を見ますと立命館大学人文科学研究所が昨年創刊した雑誌「京都地域研究」に見られることく歴史、伝統ばかりではない、近・現代史的、社会科学的、京都関係書の発掘が見られます。又各小学校の創立百年誌に見られるがごとく教育関係書の充実も特筆すべきことだと思えます。もちろん歴史、伝統に関するものは言はずもがなです。さて社会科学ですが、これは毎回減少しています。筆者の専門分野ですから心苦しく思います。編

総合目録ジャンル別出品点数一覧

ジャンル	1号	2号	3号	4号
写真版(和書)	102	82	197	271
京都・滋賀関係		167	267	359
書誌・辞典	58	64	101	97
歴史	340	340	407	465
社会科学	584	434	407	440
宗教学	246	282	112	130
文学	721	183	351	339
全集		114		
初版・限定版		303	186	238
美術	203	341	409	516
版画	21			23
趣味	323	351	306	282
古典籍	142	244	179	87
名勝図会・地図			66	95
唐本・和本				53
自然科学	21	15	96	37
洋書		407	825	683
写真版(洋書)		40	98	99
総点数	2901	3412	4216	4266
参加会員数	20	19	17	17

「総合古書在庫目録・第五号」

申し込み受付

来る五月二日より四日間古書研究会主催で岡崎公園内の京都市勸業館二階全フロアにて「第四回春の古本まつり」を開催。併せて「総合古書在庫目録」の第五号が四月中旬頃発行される。B5判150頁以上、写真版多数の豪華

目録。販売価格は五〇〇円(別に送料二五〇円)であるが、本誌の定期購読者で左記ノ切までにお申し込みいただいた方には無料でお送りします。ハガキに送り先を記入してお申し込み下さい。

◎申し込み〆切

昭和六十二年三月三十一日

◎申し込み先 606京都市中京区東洞院通六角上ル 京都古書組合内 古書研究会「目録」係

集の時の愉快な話ですから紹介しますが、下記のどの分野に分類すべきか判断としない商品はすべてここへもって来てしまわれます。かくの如く京都ではマイナーな分野のなかも知れませんが、しかし地方の総合目録と比較してみました

がまだまだ質・量とも豊富です。つづいて宗教の分野ですが京都では専門店が多数あるにもかかわらず点数が少ないことを編集部は猛省しています。一層の掘り越しに努めます故、御期待下さい。

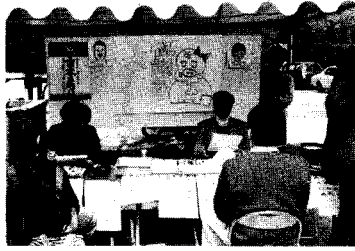
自然科学も少ない分野です。古書になる前に時代遅れ本になると考えている様です。残念ながら会員の中に専門店はありません。しかし科学史のように人文・社会科学と深く掛わる字間もあります。専門店へと育っていく会員の出現を期待したいものです。

総花的な総合目録ですから発送先にいつも頭を痛めています。しかし編集部はこう考えています。総合目録の発行は古書研一人一人の学習の場であり、編集を学び現在の需要傾向を学び、個々の名簿を増し、その結果個人目録発行へ移行していくステップだと、

# 大盛況

## 第10回記念青空古本まつり

秋の年中行事として京都の才情にも登場するようになった恒例青空古本まつりが、十月三十一日より十一月三日まで京大北の百方遍知恩寺境内で賑やかに開催された。今年は第十回という節目であり、イベントも数多く用意された。会期中青天に恵まれ人も連日うなぎ登り。漫画家大坂ときを先生描くところの古書研メンバーの似



順番待ちの似顔絵コーナー

顔絵を配した集印帖が来場のお客さんに配られ、買物のたびに各店で朱印が押される。五つ集まれば抽選が一回、十で二回、全店(二十店)巡れば十回も出来る。抽選でどの店も満員の入だかり。抽選の特等賞品は会員店夫々が工夫を

こらして五千円以上の品物を用意。本立て。拡大鏡。正月用の掛軸、文庫本の本棚付セット、百科事典、文庫、等々……二十本が用意されたが、連日大当りの鐘が鳴りわたった。あんまり気前よく大当りの赤玉を入れたので最終日には賞品が切れて金券でかんべんしていた。だくほどの大人気であった。

村役場(古本村本部)前では漫画家大坂ときを先生と、萩原たけし先生による似顔絵コーナー。希望者殺到で先生は食事の間もないほど。本堂正面の入札セールはさすが十回目ともなるとお客さまも

慣れたもの、友人はだしの入札値が入るようになった。

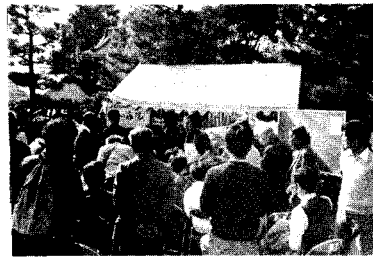
正面の西テントでは今回初めて企画した「本の病院」が開設された。以前催した和本の修理講座も大人気であったが、今回は大阪の製本研究会「書祭」より世儀義雄先生をお招きして製本実習、洋装本の修理講習を開いた。また痛み本の相談や修理依頼もあり、新聞やテレビでも紹介され、これだけを目標でに遠くからおいでいただいた方も多かったようだ。

古本村の中ほどにはこれも今回初めての催し「エクスリプリス講習会」のテントが店開き。様々な手法による蔵書票が展示された。また洋画家であり近代版画にも新しい作品を発表されている井上武先生の指導によりその場でエツキングの蔵書票も製作・印刷できる



蔵書票講習会での実習作品  
自分で作ったエクスリプリスを蔵書に貼る喜びを知ってほしいもの

とあって、大人からチビっ子まで熱心に製作。その力作のいくつかを上に紹介させていただいた。なお手づくりの蔵書票についてのお問合せは当会員山崎書店へ。簡単な銅版セット(プレス機他一式)も八千円で用意している。



熱心に聴き入る「本の病院」の講習会

会員が一年間知恵を出し合って作り上げた青空古本まつり。とてもかく大盛況にやれやれ。

### 「京古本や往来」専用ファイル 進呈に応募が殺到

先号にて森下正三郎氏(三密堂書店)手製の本誌専用のフラスナーファイルを当誌定期購読のご希望の方へ進呈する旨発表したが、応募期限の十月末までに二百十三名の方から依頼があった。期限までに出来上っていたのは二百冊、お一人二冊づつのお約束だったため百名の方に限ってお送りすることにしてはいたが、製作者の森下氏

から「これほどまでに希望していただけるのなら」と古本まつりの準備を返上してさらに二百二十六冊を製作。応募の方全員におわたしすることが出来た。森下氏は「応募の方に一人一人返事も書きたかったが時間が無かったのだ」と誌上より応募のお礼を伝えてほしいとのこと。当誌ご愛読の皆様には心よりお礼申し上げます。そしてこのファイルがまたまた足りぬようになるほど息長く発行を続けてゆけるよう古書研会員一同奮闘致します。どうぞご愛顧のほどを。

### 「天理図書館よりお知らせ」

前号にて紹介した左記目録の頒価が決まったのでお知らせします。

◎編者連歌俳諧書目録 B5判

第一(復刊) 四千円(並製)

第二 八千円(上製)

第三 六千円(並製)

◎天理近世文書目録・第二(大和国高市郡) A4判 七千円

お申込、お問合せ、天理図書館庶務部 天理市柳之内、

電(0736)3521(内線)755

編集委員 前田司(キコオ書店)

赤尾薫(照文堂) 飛田正雄(文庫堂) 藤原亨(京極書房) 三浦了三(其中堂)

次号予定

「京古本や往来」第二十六号は

四月十五日発行予定です。

〒604 京都市中京区壬生下溝町七一  
(仏光寺通西新道東入)

京極書店

電話(〇七五)三二五一五六〇  
振替 京都 六一二四八八

- 1 京都府資料所在目録 京都図書館協会 昭43 1,000
2 京都出版史 其編纂委員会編 昭56 六〇〇〇
3 論叢山城志 青字消 昭11 四〇〇〇
4 丹波史年表 背汚 松井 奎堂 昭41 六〇〇〇
5 大江町風土記 新編 昭42 三〇〇〇
6 美山仏教誌 昭56 四〇〇〇
7 ふるさと美山の生活 少暇 昭58 三〇〇〇
8 地図に見る京都の歴史 昭55 四〇〇〇
9 京都史話 背字消 田中惣五郎 昭11 三〇〇〇
10 京都庶民生活史他 四冊 京都信用金庫 昭48 四〇〇〇
11 趣味の京阪双書 1-12 京阪電気鉄道 昭17 六〇〇〇
12 郷土研究 二-四・七 京都女子師範 昭10 三〇〇〇
13 びぢつと 創刊号 京都市観光課 昭23 一〇〇〇
14 エトアール 創-6内五冊 京都日本科学 昭22 三〇〇〇
15 相楽 丸山勝次郎 昭22 四〇〇〇
16 京都古蹟行脚 川勝政太郎 昭22 一六〇〇
17 京都風土記 続共二冊 大塚 五郎 昭20 一六〇〇
18 京友禅 染織新報社 昭25 二〇〇〇
19 京都人物山脈 毎日新聞社 昭31 一五〇〇
20 発明の京都 京都発明協会 昭31 一五〇〇
21 京都音楽史 中原 都男 昭45 二〇〇〇
22 京都市の巨樹名木 植樹会 昭51 四〇〇〇
23 御室の桜 背欠 香山 益彦 昭6 三〇〇〇
24 衣笠子ども風土記 衣笠小学校百年記念 昭48 一三〇〇
25 岩倉 大鷲町 其町史編纂委員会 昭56 二〇〇〇
26 京都新聞九十年史 同社史編さん委員会 昭44 三〇〇〇
27 五十年史 京都取引所 昭54 三〇〇〇
28 京都府保険医協会30年史 三冊 其協公所 昭50 三〇〇〇
29 組合史 西陣織物工業組合 昭47 一五〇〇
30 恩福軒主人小伝 復刻 川島織物(株) 昭39 一八〇〇
31 藤原私本大原御幸 後藤 武雄 昭60 二五〇〇
32 二千院談義 水谷 教章 昭45 三〇〇〇
33 黙雷神話 建仁寺専門道場 昭54 三〇〇〇

〒606 京都市左京区今出川通百万遍東入  
(京都大学前)

井上書店

電話(〇七五)七八一三三五二  
振替 京都 七一三二四九七

- 1 未解放部落の形成と展開 渡辺広 吉川弘文館 昭52 三〇〇〇
2 部落問題の教育史的 연구 部落問題研究所編 昭53 二六〇〇
3 同和教育の研究 小川太一 部落問題研究所編 昭41 一〇〇〇
4 部落史の研究 前近代篇 部落問題研究所編 昭53 二〇〇〇
5 近代被差別部落史研究 大車夏身 明石書店 昭55 三〇〇〇
6 宗教と部落差別 鹿嶋龍之 仲尾俊博 昭57 三〇〇〇
7 部落解放運動の史的展開 新藤東洋男 昭56 二六〇〇
8 被差別部落の形成と展開 尾崎行也 昭55 二六〇〇
9 信州被差別部落の史的展開 尾崎行也 昭57 二七〇〇
10 被差別部落の伝承と生活 信州の部落老聞き書き 昭47 四〇〇〇
11 剣道の発達 下川潮 大日本武徳会本部 昭14 七〇〇〇
12 剣道極意 完 香川輝 講談社 昭45 四〇〇〇
13 剣道極意 完 香川輝 大正書院 昭12 五〇〇〇
14 剣道極意 崋堂居士 昭46 三〇〇〇
15 剣道極意 今村嘉雄 新人物往来社 昭12 三〇〇〇
16 剣道極意 大野熊雄 日本武教社 昭5 二〇〇〇
17 千葉周作遺稿 千葉栄一郎編 昭17 二五〇〇
18 無外真傳兵法道考 中川申一 非売 昭41 四〇〇〇
19 天眞正伝 香取神道流武道教範 杉野・伊藤 昭16 五〇〇〇
20 歴史随談 櫻井現流 海音寺潮五郎 昭40 二〇〇〇
21 武道随談 隈元喜道 芳山房 昭15 二八〇〇
22 日本武道流祖傳 川内鉄三郎 昭10 二〇〇〇
23 武士道要意 劍聖会編 昭8 二五〇〇
24 無外流居合兵法道解説 中川申一 非売 昭34 五〇〇〇
25 無外流居合詳説 山内六谷田線引アリ 秘文堂 昭13 三〇〇〇
26 拳法極意 當身殺活法明解 藤田西湖 昭33 六〇〇〇
27 薩摩の刀と鐙 福永酔剣 昭44 四〇〇〇
28 刀剣雑話 室津鯨太郎 南人社 昭14 三〇〇〇
29 手裏剣 成瀬閑次 新大衆社 昭18 三〇〇〇
30 柔道史 櫻庭武 線アリ 日黒書店 昭10 一五〇〇
31 日本文学大辞典 少シケ新潮社 昭35 三〇〇〇
32 日本近代文学大典 講談社 昭53 四〇〇〇

〒600 京都市下京区七条通堀川角

谷書店

電話(〇七五)三六一一七六九五  
振替 京都 一一二一七九

- 1 真言宗年表 守山聖真編 昭48 三〇〇〇
2 豊山年表 荒木良仙・守山聖真編 昭3 一五〇〇〇
3 密教史概説と教理 大山公保編 昭36 七〇〇〇
4 弘法大師全集 密教文化研究所編 全8冊 昭53 三〇〇〇
5 弘法大師伝の研究 牧野信之助 昭10 一〇〇〇
6 弘法大師真蹟集成 長谷玉秀編 昭51 一八〇〇
7 弘法大師真蹟集成 全13帖 昭54 三〇〇〇
8 眞言風信帖 弘法大師筆 一卷 昭52 三〇〇〇
9 眞言指帰 京都府立総合資料館 昭60 三〇〇〇
10 東寺百合文書 正・続 上島有編 昭60 三〇〇〇
11 密教發達志 大村西崖 昭47 一八〇〇
12 日本密教史 松永有見 昭4 九〇〇〇
13 眞言密教の教学 金山穆韶 昭56 八〇〇〇
14 眞言密教の信仰観 伊藤古鑑 昭19 三〇〇〇
15 眞言密教の精髄 那須政隆 A6・94P 昭11 二八〇〇
16 眞言密教の精髄 那須政隆 A6・94P 昭31 一〇〇〇
17 日本真言の哲学 金山・柳田 昭18 七〇〇〇
18 民衆真言密教講和 野見山忠念 少湿 昭8 五〇〇〇
19 釈摩訶衍論之研究 森田龍徳 昭44 二〇〇〇
20 秘蔵宝鑑講義 高井親海 昭51 五〇〇〇
21 五輪九字秘訣の研究 那須政隆 昭45 六五〇〇
22 密教占星法 森田龍徳 全二冊 昭16 二〇〇〇
23 星と眞言密教 岩原謙信 輪転図一枚 昭33 一五〇〇
24 宿曜経占の眞伝 脇田文紹編 昭37 一五〇〇
25 宿曜経占の眞伝 脇田文紹編 昭30 五〇〇〇
26 祈禱の科学的解明 平井 巽 昭9 四〇〇〇
27 護摩全集 添田隆俊編 全65帖 昭55 三〇〇〇
28 神儒偶談 慈雲尊者 昭19 七〇〇〇
29 普通真言蔵 折帖 全三帖 明治刊 一五〇〇〇
30 四度行記 法曼流 慧航 十八道欠四帖 安永八 二五〇〇〇

〒606 京都市左京区北白川久保田町64の5

社会科学系 外山書店

電話(〇七五)七〇一六六二七 振替 京都 九一六三八四

1	ミーンチン他・唯物論辞典	廣島定吉訳	昭12	五〇〇〇
2	同盟科学アカデミア研究所編 哲学小辞典			
3	ローゼンタル・哲学小辞典	及川朝雄訳	昭25	三、五〇〇
4	イシチエニコ・唯物弁証法辞典	及川朝雄訳	昭22	三、〇〇〇
5	哲学小辞典	加茂儀一他	昭23	三、八〇〇
6	人民の辞典	正旗社編集部編	昭24	三、〇〇〇
7	ラフクテ正義善霊神の唯物史観	萩原厚生訳	昭5	三、〇〇〇
8	メーリング・唯物史観	岡田宗司訳	昭4	三、〇〇〇
9	スターリン・唯物史観	佐野、西編	昭3	三、五〇〇
10	メドヴェージェフ他・史的唯物論(大衆版)			
11	フィンゲルト他・史的唯物論教程	日本戦無教育部訳	昭7	三、〇〇〇
12	デボリン・弁証法的唯物論の哲学	川内、永田訳	昭3	四、八〇〇
13	デボリン・フランス唯物論史	井上、満訳	昭2	六、〇〇〇
14	唯物論と主体性	高桑純夫	昭23	三、〇〇〇
15	唯物史観と経験批判論	福本和夫	昭23	三、〇〇〇
16	史的唯物論の研究(生産力・階級・法・道徳)	鈴木安蔵	昭23	四、〇〇〇
17	唯物史観	榊田民蔵 全集1	昭22	三、〇〇〇
18	弁証法ノート	金子武蔵他編	昭24	三、八〇〇
19	唯物史観のために	福本和夫	昭3	三、五〇〇
20	ゴレーフ・弁証法と弁証的方法(線有)(76P)			
21	ルッポル・レーニン主義と哲学	蔵原惟人訳	昭6	三、〇〇〇
22	土台・上部構造論	神、小郷編	昭33	六、〇〇〇
23	ナツプ戦線に立ちて	山田清三郎	昭6	六、〇〇〇
24	ゴリキイ文学論(ナウカ版)	大竹博士訳	昭12	三、〇〇〇
25	解放―曝露小説	昭和3年6月号―	昭3	三、〇〇〇
26	コーガブローレリア文学論(線有)	昇、曙夢訳	昭3	三、八〇〇
27	ポリヤンキイ・文学研究の方法論	黒田辰男訳	昭6	三、五〇〇
28	シルレル・文学の発展と批判	熊沢復六訳	昭11	三、〇〇〇

29	フリーチエ芸術社会学の諸問題(線有)	黒田辰男	昭7	五、〇〇〇
30	フリーチエ・芸術社会学	昇、曙夢訳	昭5	二、〇〇〇
31	ソウエト芸術の展覧	尾瀬敬止	昭23	二、〇〇〇
32	ウイットフォーゲル・マルクス主義美学	三宅、屋井訳	昭6	三、〇〇〇
33	批評精神―現代芸術とレアリズム	伊豆公夫	昭13	二、五〇〇
34	キルポーチン他・社会主義的レアリズムの問題			
35	ブレハーフ・チエルヌイフスキ	外村史郎訳	昭11	三、〇〇〇
36	その哲学・歴史及び文学観	蔵原惟人訳	昭7	四、〇〇〇
37	現代哲学サイクロペディア	哲学評論編集部	大25	四、五〇〇
38	五月祭前後	山田清三郎	昭4	一、五〇〇
39	スタンダル他・リアリズム論争	熊沢復六訳	昭13	三、五〇〇
40	ソウエト文化の新しい段階	蔵原惟人訳	昭2	三、五〇〇
41	日本プロレタリア芸術運動史	山田清三郎	昭5	六、〇〇〇
42	日本プロレタリア演劇論(線有)	村山知義	昭5	二、〇〇〇
43	獄中にて歌へる	田村敬男編	昭5	三、五〇〇
44	芸術と社会	北野大吉	昭13	一、五〇〇
45	反宗教闘争の旗の下に	高津正直	昭6	八、〇〇〇
46	無神論と反宗教運動	浅野研真	昭7	二、〇〇〇
47	無産階級と宗教	高津正直	昭4	四、五〇〇
48	左翼戦線と宗教	三浦参玄洞	昭5	五、〇〇〇
49	反宗教運動批判	加藤復雄編	昭6	五、〇〇〇
50	プロレタリア宗教理論	本荘可宗	昭5	三、〇〇〇
51	マルクス主義と宗教理論	本荘可宗	昭3	三、〇〇〇
52	マルクス主義と基督教	矢内原忠雄	昭22	二、〇〇〇
53	マルクス主義と無神論	佐野、学	昭2	一、〇〇〇
54	反宗教闘争―ソウエト同盟における	沖田順三訳編	昭7	五、〇〇〇
55	ヘツカア・ロシア革命と宗教			
56	ヘツカア・ロシアに於ける宗教の現状	高津、正直訳	昭4	四、〇〇〇
57	フエドロフ他・聯邦の宗教と教育	梶栗、余志訳	昭22	二、〇〇〇
58	ブロコワイエフ・社会思想と無神論	鹿島保夫訳	昭29	五、〇〇〇
59	ブレハーフ・マルクス主義宗教論	川内唯彦訳	昭5	三、〇〇〇
60	マルキシズムと宗教	長谷川、如是閑他	昭5	四、〇〇〇
61	宗教と唯物論	小山内匠	昭13	二、〇〇〇

62	宗教問題と反宗教運動	赤神良謙	昭6	七、〇〇〇
63	宗教の批判と理解	本荘可宗	昭7	四、〇〇〇
64	現代宗教論	佐木秋夫	昭23	一、〇〇〇
65	日本仏教の創建者	三枝博音他	昭24	三、〇〇〇
66	新宗教論大系1-4、6、5冊	柳田謙十郎他編	昭27	五、〇〇〇
67	宗教心理学	今田、恵	昭21	二、〇〇〇
68	なまじき親鸞―共産主義者による再発見	柳田茂雄	昭25	二、〇〇〇
69	現代人の運命と宗教―親鸞とマルクスの場合	岩倉貞治	昭24	一、〇〇〇
70	寺田経済の前途	友松園治	昭7	二、〇〇〇
71	メーリング・カール・マルクス			
72	ヴァルガ・帝国主義論(普及版・改訂版)	西雅雅訳	昭11	二、〇〇〇
73	帝国主義研究	猪俣津南雄	昭3	五、〇〇〇
74	その時皇帝は何をしてゐた?	伊藤鋭太郎	昭5	一、〇〇〇
75	トロツキー・レーニンの横顔	小池四郎他	昭5	二、〇〇〇
76	平和的共存と民族解放の理論	駿台社	昭29	二、〇〇〇
77	各国共産党新綱領集	三一書房編集部編	昭29	二、〇〇〇
78	トレーズ他・フランス共産党第14回大会			
79	アイデット・新しいインドネシア	飯塚興訳	昭31	二、五〇〇
80	朝鮮における社会主義の基礎建設	金、高訳	昭33	二、五〇〇
81	クロド・アメリカ帝国主義の史的 분석	小出陸井訳	昭27	二、〇〇〇
82	社会思想の研究及批判	福場保洲	昭6	二、〇〇〇
83	戦後日本共産党史―党内闘争の歴史―			
84	コミンテルン・日本共産党テーゼ	社会経済労働研究所	昭33	二、五〇〇
85	ファシズム下の党活動	日共東京都委	昭26	一、五〇〇
86	民主的日本の建設(57P)	野坂参三(岡野進)	昭21	八、〇〇〇
87	徳田球・伝(惜しみなき軌身)(線有)	理論編集部	昭27	二、〇〇〇
88	戦略問題の要項(線有)	渡辺政之輔	昭27	一、〇〇〇
89	解放をめざす友へ―日本共産党			
90	三十周年記念出版―アカハタ編集部編		昭27	二、〇〇〇
91	私の社会主義	向坂逸郎	昭24	一、〇〇〇
92	総評 労働記者会	村上寛治他	昭28	三、〇〇〇
93	戦後平和運動史	熊倉啓安	昭34	二、〇〇〇
94	独立資本主義とたたかう農民運動	農民運動研究会編	昭31	一、〇〇〇
95	反独占農民運動の構造	農民運動研究会編	昭32	二、〇〇〇

千 606 京都市左京区一乗寺南大丸町95  
**石川古本店**  
 電話(〇七五) 七一一一五四二九  
 振替 京都 七二三二〇八九

33	母多北	創刊号 (イタミ有り)	昭10	1,000
32	釣魚大全	第二卷 上田尚	昭6	1,000
31	概観世界史潮	坂口昂	昭21	1,000
30	愛知県地方計画のあゆみ		昭54	1,000
29	中支の展望	箱欠	昭13	1,000
28	日本印刷年鑑		昭37	1,000
27	比島戦記	菊地武憲	昭18	1,000
26	近代日本の政略	杉田一次	昭53	1,000
25	明治維新発祥記		昭8	1,000
24	静香院追憶文集	三輪信雄	昭50	1,000
23	外務省の百年	上巻	昭44	1,000
22	芦屋女子短期大学開学二十周年記念論文集		昭54	1,000
21	大阪弁護士史稿	続、続戦中編二冊	昭43	1,000
20	恩輝軒主人小傳	川島織物	昭39	1,000
19	故長谷川輝彦先生業績及び追憶集		昭53	1,000
18	玉川教育		昭44	1,000
17	日本伝統工藝展	十周年記念図録	昭30	1,000
16	第十三回全国菓子大博覧会誌		昭44	1,000
15	近江のあゆ	京都滋賀県人会編	昭29	1,000
14	日本の危機	金森徳次郎 共編	昭29	1,000
13	日本政治百年史	山浦四郎 共編	昭42	1,000
12	都市交通二十年史		昭33	1,000
11	大和銀行四十年史 (箱欠)		昭54	1,000
10	大和銀行六十年史		昭61	1,000
9	自治労共済二十年史		昭58	1,000
8	労働衛生四十年史	京都工場保健会	昭48	1,000
7	川島織物三十五年史		昭51	1,000
6	三十五年の歩み	京都中央信用金庫	昭45	1,000
5	日本高周波鋼業二十年史	ダイヤモンド社	昭10	1,000
4	五十年史	京都取引所	昭53	1,000
3	芦屋大学創立五十周年記念論文集		昭34	1,000
2	ヒツチコックマガジン	創刊号	昭2	1,000
1	考古	開西考古会	昭2	1,000

Renew open

株式会社 **臨川書店** Autumn 1986  
**大阪店新装開店**

\* 和洋学術専門書から趣味・娯楽書まで  
 \* 愛書家のための古書店を指向しています \*

本社 千606 京都市左京区今出川通川端東入ル50m ☎(075) 721-7111(代)  
 大阪店 千530 大阪市北区芝田1-6-2 阪急古書のまち ☎(06) 374-1300

千 600 京都市下京区寺町通り五条上ル  
**藤井文政堂**  
 電話(〇七五) 三五一九三六三  
 振替 大阪 七一一一五一一

33	太兆龜相伝	大原美能理	明28	1,000
32	蘭杉本亀卜宅相秘鈔	杉本鐵幸	大14	1,000
31	對馬龜卜談	横山孫次郎	昭3	1,000
30	神術基範(神道天文曆法)	東方文化会	昭16	1,000
29	連山婦藏	陰陽道大教院	昭29	1,000
28	水穂傳	二冊	昭5	1,000
27	靈素発輝	附鏡魂手引	昭5	1,000
26	神傳占八占真傳(卜相)	教祖御著プリント版	昭14	1,000
25	神傳八門通甲靈崇明占伝	実川泰弘	昭13	1,000
24	管靈狐魂驅役神通真伝経	実川泰弘	昭14	1,000
23	崇障除靈金剛結護修験教典	実川泰仙	昭14	1,000
22	摩訶白湯文字文靈巫傳教典	実川泰仙	昭14	1,000
21	神祕開運法(除災招福)	高嶋易断	昭13	1,000
20	五行易活断	瀝江保	昭15	1,000
19	易学靈崇答障秘録	大島中堂	昭13	1,000
18	五行易活断	瀝江保	昭15	1,000
17	鬼谷古法断易精蘊	九鬼盛隆	大7	1,000
16	梅花心易掌中指南	中根松伯	明23	1,000
15	推命書 假名附	櫻田虎門	明24	1,000
14	方位 明治九星早見	小田切東澤	明31	1,000
13	方位 三才精機	松浦琴鶴	明33	1,000
12	一行禪師有名一掌金和解	和横三冊	天明	1,000
11	易字診解	佐久間順正	安政	1,000
10	推命書	和横三冊	明17	1,000
9	地理家相秘突	藤 秀林	文化	1,000
8	推命書	和横三冊	明19	1,000
7	推命書	和横三冊	明19	1,000
6	推命書	和横三冊	明19	1,000
5	推命書	和横三冊	明19	1,000
4	推命書	和横三冊	明19	1,000
3	推命書	和横三冊	明19	1,000
2	推命書	和横三冊	明19	1,000
1	推命書	和横三冊	明19	1,000

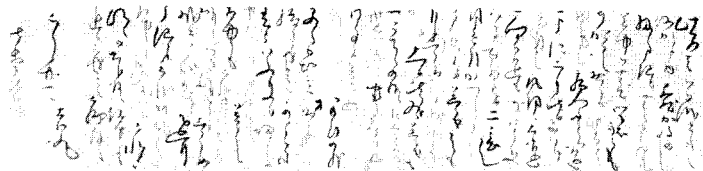
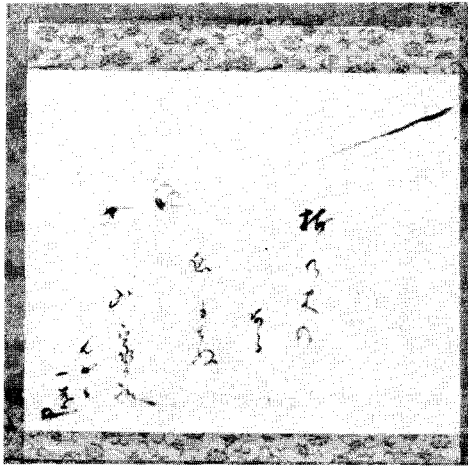
文藻堂

〒604 京都市中京区新烏丸通竹屋町上ル

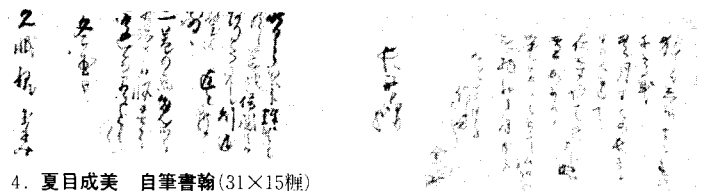
電話(〇七五)二三二一九二四  
振替 京都 八一六 一五

1 小林一茶 梅自画賛幅 鈴鹿野風呂箱書 絹三段装

(本紙30×25裱)二五〇、〇〇〇円  
梅の木のある顔もせぬ山家かな じも、茶(花押)

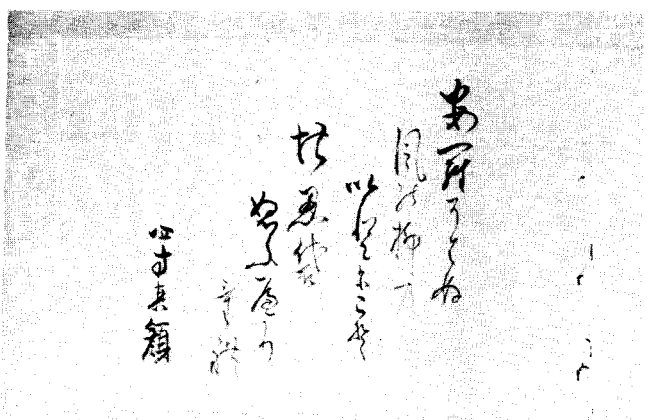


2. 大伴大江丸 自筆書翰 (68×16.5裱) 末表装 ¥30,000



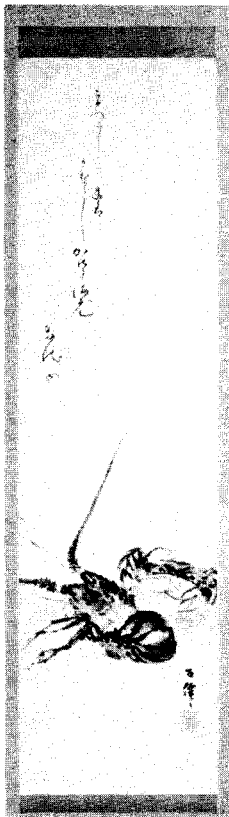
3. 鈴木道彦 自筆書翰 (31×18裱) 四句、署名金令「花押」 ¥8,000

4. 夏目成美 自筆書翰 (31×15裱) 署名成美 ¥8,000



6. 狂歌堂真顔 歌幅 紙装(本紙49×34裱) 杉箱入 ¥25,000  
あらしめぬ風の柳のいとにこそ 填忌袋ぬふばかりけれ 四方真顔

5 市原多代女賛 百儷画 海老画賛幅 紙装(本紙30×112裱) 杉箱入 三〇、〇〇〇円  
うつくしう年はよりたしかざり海老(彩色)

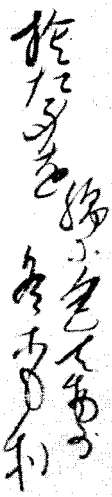


7 物外不遷 短冊 美 一二、〇〇〇円  
捨て身を絶に捨て冬ごもり 物外圓

8 太田蜀山人 短冊 美 一二、〇〇〇円  
生酔の引沙風に小かれては 千鳥地模様

9 石川雅望 短冊 飯盛 美 八、〇〇〇円  
月をみるなどころ多きその中に 飯盛

10 松尾塊亭賛萍左画 布袋画賛 禪画風(半折) 飯巻 美 五、〇〇〇円  
袋には何か本米先の月



〒606 京都市左京区一乗寺塚本町106の2  
白川ビル1F

# 文庫堂

電話(〇七五) 七二一四四四九  
振替 京都 二一四二五七九

1	郷土の文化財 全一五冊	宝文館	昭38	一五,〇〇〇
2	図説日本文化地理大系 全一八冊	昭37	一五,〇〇〇	
3	北方未公開古文書集成 全一〇冊	昭54	五,〇〇〇	
4	北海道史概説 奥山亮	昭33	四,五〇〇	
5	千島博物誌 国書刊行会	昭52	三,六〇〇	
6	永山町史 国書刊行会	昭56	三,〇〇〇	
7	白鷹町史 表見返し欠	昭52	三,〇〇〇	
8	伊香保誌 伊香保町役場	昭55	八,五〇〇	
9	日光市史 全三冊	昭54	一五,〇〇〇	
10	東京ふる里文庫 全二二冊	昭52	三,〇〇〇	
11	藤沢郷土史 加藤徳右衛門	昭55	八,〇〇〇	
12	下田年中行事 天保十四年	昭49	一五,〇〇〇	
13	清水みなど史 立川春重	昭39	九,〇〇〇	
14	郡上八幡町史 上・下二冊	昭36	三,〇〇〇	
15	高山売薬業史料集 全三冊	昭52	三,〇〇〇	
16	高山市史 復刻版	昭56	一八,〇〇〇	
17	新・高山市史 一・二巻	昭57	三,〇〇〇	
18	尾張旭市誌 資料編共二冊	昭46	一四,〇〇〇	
19	小坂井町誌 尾張旭市役所	昭51	八,〇〇〇	
20	伊賀町史 同編纂委員会	昭54	九,〇〇〇	
21	比叡山 〽その自然と人文〽	昭46	一四,〇〇〇	
22	小浜市史 資料編社寺文書編金石文編	昭36	三,〇〇〇	
23	滋賀県指定無形文化財調査報告(雁皮紙・金箔編)	昭46	二五,〇〇〇	
24	(本藍・信楽焼編)(もみ紙・毛筆編)三冊	昭44	四,〇〇〇	
25	近江日野町誌 全三冊復刻	昭61	三〇,〇〇〇	
26	上牧町史 臨川書店	昭52	一〇,〇〇〇	
27	葛上村史 葛上村役場	昭33	六,〇〇〇	
28	大和志 全九冊 復刻	昭57	六,〇〇〇	
	吉川弘文館	昭33	三〇,〇〇〇	
	正・続・資料編			

29	大和国町村誌 川井景一編	名著出版	昭60	二〇,〇〇〇
30	明日香村史 全三冊	奈良県同村役場	昭49	五,〇〇〇
31	三郷町史 上・下二冊	昭51	五,〇〇〇	
32	京都市史 編年綱目 全三冊	昭19	一八,〇〇〇	
33	京華要誌 全三冊	京都市参事会	昭28	一八,〇〇〇
34	京都府誌 全二冊	名著出版	昭49	八,〇〇〇
35	京北町誌 函欠	京北町	昭50	八,〇〇〇
36	篠村史 林屋辰三郎・上田正昭	昭36	三,〇〇〇	
37	伏見桃山の文化史 加藤次郎	昭28	三,〇〇〇	
38	都の魁 復刻 京を語る会	昭46	三,〇〇〇	
39	西院の歴史 西院の歴史編集委員会	昭58	七,〇〇〇	
40	洛西花園小史 西田直三郎編	昭19	四,五〇〇	
41	北野誌 全三冊 北野神社社務所編	昭44	一六,〇〇〇	
42	京都市府議会議録 全六冊	昭52	一六,〇〇〇	
43	昭和の大礼京都市府警備記録 全二冊	昭4	一〇,〇〇〇	
44	京都の伝統産業 京都市商工局	昭37	一六,〇〇〇	
45	大阪府史 第一巻 古代編I	昭53	一〇,〇〇〇	
46	大阪府史 第二巻 中世編I	昭54	一〇,〇〇〇	
47	北区誌 大阪府北区役所	昭30	七,〇〇〇	
48	北区誌 大阪都市協会	昭55	七,〇〇〇	
49	大阪小間物装粧品変遷史 大阪毎日新聞社	昭35	五,〇〇〇	
50	大和記念博覧会誌 大阪毎日新聞社	昭14	一〇,〇〇〇	
51	寝屋川市誌 兵庫県百年史 兵庫県史編纂委員会	昭41	一八,〇〇〇	
52	兵庫百年史 兵庫県史編纂委員会	昭42	一八,〇〇〇	
53	続三朝町誌 ふるさと物語 三朝町役場	昭43	七,〇〇〇	
54	高松市史 高松市役所	昭8	三,〇〇〇	
55	糸島郡誌 復刻 名著出版	昭47	一六,〇〇〇	
56	佐賀市史 上・下 復刻版	昭48	八,〇〇〇	
57	長崎洋学史 全三冊	昭48	五,〇〇〇	
58	長崎幕末資料大成 全五冊	昭44	三,〇〇〇	
59	長崎古版画 永見徳太郎	昭49	一〇,〇〇〇	
60	長崎美術史 野々上慶一編	昭45	三,〇〇〇	
61	南蛮美術 西村 貞	昭33	三,〇〇〇	
62	南蛮漆芸 美術出版社	昭46	一六,〇〇〇	
63	開港四百年長崎図録 美術出版社	昭45	一六,〇〇〇	
64	鎮西町史 函 佐賀県同町	昭37	六,〇〇〇	
65	南方熊楠全集 全十二冊 平凡社	昭49	五,〇〇〇	

## ご案内

1F

- 国史大系 (戦前版) 分売中です。
- 近代文学、英語、英文学研究書が多数在庫していますのでご来店の上、お求め下さい。

2F

『現代美術と版画』の常設展をスタートさせます。

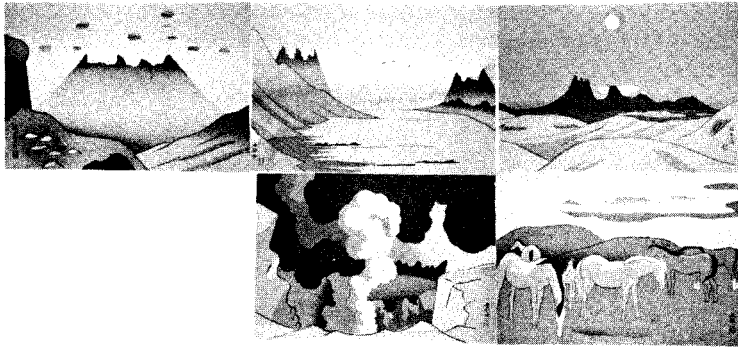
〒602 京・上京区河原町今出川上る  
**(株) 善 書 堂** TEL (231) 7711・7716



〒600 京都市下京区仏光寺通東洞院角  
**シルヴァン書房**  
 電話(〇七五)三四二一八七九三  
 振替 京都 一七九三三八

- ① M.P.-J. スタール監修 グランヴィル装飾画  
 「動物の私生活、公生活の情景，現代道徳觀念の研究」全2巻  
 Direction de M.P.-J.Stahl, SCÈNES DE LA VIE PRIVEE ET PUBLIQUE DES ANIMAUX.  
 バルザック、ロード、ペドリエール、バルナルル……ジョルジュ サンド文 動物を戯人化した挿図多数、  
 Cahy Robert 装幀 背前革及びマープル装 J.Hetzel, 1842. 4to. 極美本 ￥160,000
- ② 「A. ルイザのお気に入りの愛玩本」  
 Cinderella, Puss in Boots, picture Puzzle Alphabet, Ten Little Soldiers,を28図石版色刷で収める。  
 F.ware, ヴィクトリア朝期、青装飾布装 美本 ￥32,000
- ③ ピエール ルイス著「アフロディテ」P-E. ベガ画  
 P-E, ベガ画による色刷挿画多数 248頁＋スリット画 8vo. D'art H.Piazza 1937. 300部限定、番号入本  
 総革極美本 ￥70,000
- ④ J.バーブ著(J.Barbut)「LINNAEIの昆虫、海生物分類図鑑」  
 J.Barbut による精緻な銅版手彩色 図版30図入 英国の昆虫類他 391+101頁 合本1冊  
 LES GENRES DES INSECTES DE LINNE; Constates han Divers Echantillons D'Insectes D'Apres  
 Nature J.Sewell 1781. 1783 総革装 稀少美本 ￥350,000
- ⑤ E.ゾラ著「ナナ」  
 B.Saint-Andre オリジナル石版画 ダブルスリット 色彩石版付 261+270頁 1000部限定、番号入  
 背革マープル装 G.Briffaut. 1946 稀少極美本 ￥120,000

2月27日～3月1日ABAJ主催、「世界の古書、日本の古書」展示大即売会に出店致します。  
 ー大阪グランドビル(ブースNO.A3)ーカタログ発行(送料500円、切手可)ー



坂本繁二郎 木版阿蘇五景

限定130部 昭和46年 ¥150,000

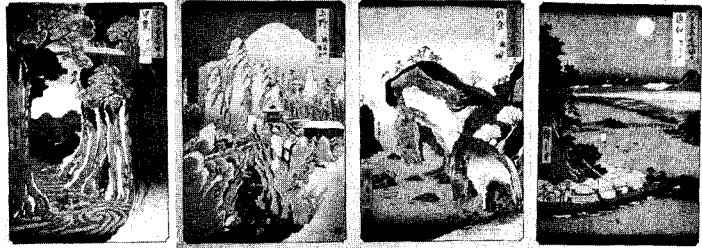
〒604 京都市中京区寺町通錦上ル

大書堂

電話(〇七五)三三三〇六八五  
振替 京都 七十三三六五



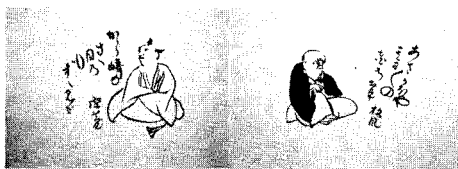
金島桂華 肉筆色紙  
宝舟 ¥45,000



広重 六十余州名勝図会 大正7年 萬花堂複製木版  
60枚 パラ売 各一枚 ¥5,500



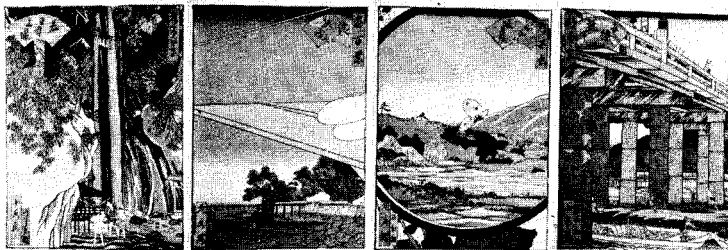
英泉・広重 木曾街道六十九次 昭和初期複製木版 50枚 パラ売 各一枚 ¥5,500



蕪村俳仙帳 木版墨摺 36図 一帳  
秋保鉄太郎 明治44年 ¥55,000



池ノ坊流 瓶花園集百図 彩色写本 内50図  
江戸期 ¥180,000



都百景 北水・東居画 百景の内50図 一帳 ¥580,000

山崎書店

電話(〇七五) 七二一七二四八  
振替 京都 〇一八三六

- 千606 京都市左京区田中大久保町22 (東大路観電交差北)
- 1 吉祥図案解題 支那風俗の研究 野崎誠近 昭3 二六,〇〇〇
  - 2 曼茶羅の研究 梅尾祥著 高野山大学 昭57 三三,〇〇〇
  - 3 日本彫刻史の研究 足立 康 龍吟社 昭19 三,〇〇〇
  - 4 法隆寺の研究史 村田治郎 毎日新聞社 昭24 一八,〇〇〇
  - 5 仏師快慶論 限400 毛利久 吉川弘文館 昭17 六,〇〇〇
  - 6 支那文学芸術考 青木正兒 弘文堂 昭17 六,〇〇〇
  - 7 暹羅之芸術 三木 栄 黒百合社 昭5 一,〇〇〇
  - 8 京の数寄屋住宅 上野高士 毎日新聞社 昭60 六,〇〇〇
  - 9 坪庭 毎日新聞社 昭54 六,〇〇〇
  - 10 写真集京の坪庭 駿々堂 昭51 五,〇〇〇
  - 11 名所江戸百景 一 立斎広重 集英社 昭49 四,〇〇〇
  - 12 隈くまもり 藤田シヅ子 光村推古書院 昭54 五,〇〇〇
  - 13 高橋誠一郎コレクション 全七冊 中央公論社 昭51 三〇,〇〇〇
  - 14 大和文華 一〇〇 野田 聖 大和文華館 昭51 二〇,〇〇〇
  - 15 寶雲 全書 昭21(終) 仏教美術雑誌 寶雲舎 昭51 二〇,〇〇〇
  - 16 日本金工史 香取秀真 雄山閣 昭7 九,八〇〇
  - 17 かぶり物昔と今 岡田全弘 岩波書店 昭37 二,〇〇〇
  - 18 広重 限定 内田 実 岩波書店 昭53 三〇,〇〇〇
  - 19 近代日本画論 河北倫明 早川書房 昭24 一,〇〇〇
  - 20 文楽の芸術 湿少 石割松太郎 早川書房 昭24 一,〇〇〇
  - 21 近代交響楽 森本 寛 音楽世界社 昭11 五,〇〇〇
  - 22 母の手 藤田嗣治 絵 藤田 雅 平凡社 昭9 一,〇〇〇
  - 23 紫の恋 東郷青児 装幀 コレット 世界社 昭3 一,〇〇〇
  - 24 ニイチエとジイド アンリ・ドラン 建設社 昭21 一,〇〇〇
  - 25 ヴァレレイ 眞詩帖 谷山修三 青磁社 昭17 五,〇〇〇
  - 26 哲学的文学 書込少 森川徹三 三笠書房 昭17 五,〇〇〇
  - 27 近代文学十二講 岩波監修 ナウカ社 昭25 八,〇〇〇
  - 28 英雄待望論 鶴見祐輔 講談社 昭3 一,〇〇〇
  - 29 松川裁判 廣津和郎 筑摩書店 昭30 一,〇〇〇
  - 30 処女峰アナブルナ エルヴィン・カフカ 白水社 昭28 一,〇〇〇
  - 31 手製の人影 現代ユーモア全集7 春江堂 昭3 八,〇〇〇
  - 32 漫画川柳時代相 風来山人編 風来山人編 昭7 二,〇〇〇
  - 33 日本支那 西洋料理新辞典 近代文芸社 昭10 二,〇〇〇

菽書房

電話(〇七五) 四三二一三七二  
振替 京都 八一四三六

- 千602 京都市上京区烏丸通り上御霊前下ル 上御霊前町四一二
- 絶版文庫特集
- 1 白波傳(上) チェルリニ 世界古典文庫 昭24 一,八〇〇
  - 2 坂本龍馬 前後編 白柳秀明 博文館文庫 昭18 一,八〇〇
  - 一,五〇〇円均一 〇近代短歌史(一) 〇渡辺順 昭27(市民) 〇四季の鳥 内田清之助 昭10(梓書房) 〇橘寛賢傳 折口信夫 昭18 〇日本建築の特性 岸田日出乃 昭16(日本精神叢書) 〇増補朝鮮慶州の美術 中村亮平 昭15(改造) 一,二〇〇円均一 〇ふらふら物語初版 永井荷風 昭7(春陽堂) 〇作曲自叙伝 北原白秋 昭4 〇ユールエルク大哲学史第二巻 昭18(以上改造) 〇天誅組初版 三上於菟吉(博文館) 〇いたづら小像日記初版 佐々木邦昭 〇関ヶ原初版 直木三十五 昭7(以上日本小説文庫)
  - 〇〇〇円均一 〇人倫と道德 〇処生と人生 〇教育と芸術 〇偉人と言行 〇続偉人と言行(以上日蓮上人傳(註書讀)) 〇繪入親鸞上人傳 〇仏典講話(二) 〇阿含経 戒律講話 〇曹洞宗概論(以上仏教文庫 昭6) 〇時を歩む子等初版 芹沢光治良 昭8 〇鏡後初版 桜井忠温 昭7(以上日本小説文庫)
  - 〇修禪寺物語初版 岡本綺堂 昭4 〇現代文学十講 厨川白村 昭8(以上改造) 〇クスルプ初版 〇ヘツセ 昭28 〇現代中国短編集初版 昭27(以上近代文庫) 〇日南抄 福本日南 昭17 〇互先定石二冊 昭15 〇古今名局詳解 最新角落講義二冊 昭15(以上博文館 初版) 〇現代美術 笹川臨風 大6(美術叢書) 〇千古風流湯帝艶史初版 三木愛花(大阪屋号)
  - 〇速成英和会話 青幹文 山本忠輔 合35(文盛館)
  - 日本古典全集 〇〇〇円均一 〇符合校齊全集第一 第二 第五各冊 〇和泉式部全集 〇土佐日記 蛭蛉日記 更級日記 〇法然上人集 〇萬葉集人物図絵上巻 〇賀茂真淵集 〇後撰和歌集 〇竹取物語 〇大和物語 〇紫式部日記 〇清少納言他八〇〇円均一 〇玉かつま巻下 〇萬葉集略解第二 〇謡曲百番第三 〇源氏物語第二 〇宋筆物語中巻 〇下巻各冊 〇西鶴全集第三 〇西鶴諸国咄他一篇 〇第四諸艶大鑑他一篇 〇第五好色一代女他一篇 〇第八武家義理物語他一篇 〇第十懷硯他一篇

三密堂書店

電話(〇七五) 三五一一九六三  
振替 京都 四一三四七一

- 千600 京都市下京区寺町通仏光寺下ル
- (易学関係特集)
- 1 吉野内外篇全十二冊 新井白蛾著 河内屋 安永4 三,〇〇〇
  - 2 古易精義大成全三冊 新井白蛾著 享文堂 文化1 四,〇〇〇
  - 3 真勢家三秘伝 阿部広之進校 文栄堂 明40 二,〇〇〇
  - 4 周易奥秘鑑全三冊 山岸弥平著 一書堂 大7 二,〇〇〇
  - 5 周易著秘事 津高嘉琴編 松声軒 延宝6 四,〇〇〇
  - 6 断易十八問答秘解 大熊光山秘伝 香草社 昭49 四,〇〇〇
  - 7 梅花心易草中指南全 冊中根松伯著 聚宋堂 明36 六,〇〇〇
  - 8 卜筮経緯占考記略隨真平漢著 鴨書店 昭34 三,〇〇〇
  - 9 来註易経図解全八冊 虚陵高明編 江東書局 萬曆唐本 五,〇〇〇
  - 10 寿山堂易說 無極呂子著 寿山堂 唐本 八,〇〇〇
  - 11 淵海子評全四冊 錢鼎徐東齊編 文全堂 崇禎7 五,〇〇〇
  - 12 星平會海命学全書全五冊 雷陽中龍編 西陲唐本 六,〇〇〇
  - 13 選撰連徳類精全四冊 吳興沈亮功輯 改華堂 乾隆唐本 六,〇〇〇
  - 14 三元總録全二冊 陰陽秘伝 吳興沈亮功撰 改華堂 萬曆46 二,〇〇〇
  - 15 陽宅十書集成全四冊 王忠泉輯 埤葉山房 萬曆唐本 四,〇〇〇
  - 16 新訳三才苑秘全三冊 石橋菊子著 光彩社 昭53 二,〇〇〇
  - 17 四柱推命秘伝書全四冊 伊藤耕月著 神祥館 大9 四,〇〇〇
  - 18 四柱推命活用秘儀 佐藤六龍著 香草社 昭50 四,〇〇〇
  - 19 氣学入門 田中胎東編 氣学講堂 昭4 六,〇〇〇
  - 20 氣学 侯星法奥義 佐藤六龍著 香草社 昭46 四,〇〇〇
  - 21 氣学 侯星法奥義 佐藤六龍著 香草社 昭46 四,〇〇〇
  - 22 氣学 侯星法奥義 佐藤六龍著 香草社 昭46 四,〇〇〇
  - 23 氣学 侯星法奥義 佐藤六龍著 香草社 昭46 四,〇〇〇
  - 24 奇門遁甲真義 内藤文穩著 耕己学舎 昭44 八,〇〇〇
  - 25 奇門遁甲真義 内藤文穩著 耕己学舎 昭44 八,〇〇〇
  - 26 奇門遁甲真義 内藤文穩著 耕己学舎 昭44 八,〇〇〇
  - 27 奇門遁甲真義 内藤文穩著 耕己学舎 昭44 八,〇〇〇
  - 28 奇門遁甲真義 内藤文穩著 耕己学舎 昭44 八,〇〇〇
  - 29 奇門遁甲真義 内藤文穩著 耕己学舎 昭44 八,〇〇〇
  - 30 奇門遁甲真義 内藤文穩著 耕己学舎 昭44 八,〇〇〇
  - 31 奇門遁甲真義 内藤文穩著 耕己学舎 昭44 八,〇〇〇
  - 32 奇門遁甲真義 内藤文穩著 耕己学舎 昭44 八,〇〇〇

〒606 京都市左京区浄土寺西田町八十一  
法律・経済・思想  
一般書  
竹岡書店

電話(〇七五) 七六一一四五五四  
振替 京都 五一四二六二二

岩波文庫特集

1	アーヴィング・ラングラー物語 馬場久吉訳 全2冊	昭17	四〇〇〇
2	アリストテレス 詩学 松浦嘉一訳	昭28	一、〇〇〇
3	アミエルの日記 河野與一訳 全4冊	昭51	五、〇〇〇
4	イバニーエス 葦と泥 高橋正武訳	昭16	一、〇〇〇
5	ウイム・アールプス登壇記 浦松美太郎訳 全2冊	昭11	二、〇〇〇
6	ヴァシリー・リン 聖書物語 前田晃訳 全2冊	昭16	一、八〇〇
7	ヴォリンゲル 抽象と感情移入 草薙正夫訳	昭49	一、八〇〇
8	エラスムス 痴愚神札讀 渡辺一夫訳	昭32	一、〇〇〇
9	エリス 夢の世界 藤島昌平	昭16	二、〇〇〇
10	オシアン(ケルト民族の古歌) 中村徳三郎訳	昭46	一、五〇〇
11	オストヴルト エネギー 山縣春次訳(線引)	昭13	六〇〇
12	カレワラ フィンランド叙事詩 森本寛邦訳 全3冊	昭14	三、〇〇〇
13	カンテ 人間学 坂田徳男訳	昭60	一、五〇〇
14	キイランド 短篇集 前田晃訳	昭15	一、八〇〇
15	ゲエテ 親和力 実吉捷郎訳	昭51	一、〇〇〇
16	ゲーテ イワイゲーニエ 舟木重信訳	昭17	一、八〇〇
17	ケイベル博士隨筆集 久保勉訳編	昭55	一、六〇〇
18	ゲルツェン ロシアにおける革命思想 発達について 金子幸彦訳	昭49	一、〇〇〇
19	コッローディ ビノッキオ 柏熊達生訳	昭25	一、〇〇〇
20	コフマン 世界人類史物語 鈴木厚訳 全2冊	昭9	三、五〇〇
21	サンド 彼と彼女 川崎竹一訳	昭29	一、五〇〇
22	シエルラ 子守唄 永田寛定訳	昭2	一、八〇〇
23	シヤル・バイイ 言語活動と生活 小林英夫訳	昭16	二、五〇〇
24	シニツラ ペルトガラン夫人 伊藤武雄訳	昭15	一、〇〇〇
25	シヨウ 思想の達し得る限り 相良徳三訳	昭13	一、〇〇〇
26	シヨウ 人と超人 市川又彦訳	昭55	一、〇〇〇
27	シング アラン島 姉崎正見訳	昭52	一、五〇〇
28	シング アラン島 姉崎正見訳	昭13	一、〇〇〇
29	シング エストウル 屋根裏の哲人 木村太郎訳	昭15	一、〇〇〇
30	スタンダー ヴァニナヴァニニ 生島・森原訳	昭17	一、〇〇〇
31	ストリントベルク 父 小宮豊隆訳	昭13	一、〇〇〇

32	ストリントベルク 稲妻 小宮豊隆訳	昭2	一、〇〇〇
33	セネカ 怒りについて 茂手木元蔵訳	昭55	一、〇〇〇
34	ソクロープ かくれなほ 白い母 中山省三郎訳	昭30	五〇〇
35	チェイムス デイジ・ミラー 渡辺純他訳	昭15	六〇〇
36	チェーホフ シベリヤの旅 神西清訳	昭9	五〇〇
37	チャーロフ 一暮物全集 小泉正夫訳	昭2	一、八〇〇
38	チャールズ・ダーウキン 米川丹訳	昭16	一、五〇〇
39	チヨイス 若き日の芸術家の自画像 名原廣一訳	昭24	一、〇〇〇
40	ヂイドロ 盲人書簡 吉村道夫他訳	昭24	一、〇〇〇
41	ヂイルタイ 哲学の本質 戸田三郎訳	昭10	六〇〇
42	チニスン イン・メモリアム 入江直祐訳	昭26	一、〇〇〇
43	ドデー 陽気なタルタン 小川泰一訳	昭29	一、〇〇〇
44	トーマスマン ファウス博士 関泰祐他訳 全3冊	昭43	一、五〇〇
45	トルストイ 人生の道 原久一郎訳 全3冊	昭60	一、〇〇〇
46	トルストイ 開の力 米川正夫訳	昭2	五〇〇
47	ネルヴァル 夢と人生 佐藤正彰訳	昭13	一、五〇〇
48	ハイネ 歌の本 井上正蔵訳 全2冊	昭53	一、五〇〇
49	ハウプトマン 希臘の春 城田皓一訳	昭10	一、〇〇〇
50	パジヨットマン ロンパード街 宇野弘蔵訳	昭5	一、〇〇〇
51	バルフィンチ 希臘神話 野上弥生子訳	昭4	一、〇〇〇
52	ハンチントン 氣候と文明 間崎万里訳	昭14	一、〇〇〇
53	ブチャー キリシア精神の様相 和辻 善岳他訳	昭27	一、〇〇〇
54	フラビエ 女生徒 櫻田佐訳	昭27	一、〇〇〇
55	プリンチエール 仏蘭西文学史序説 関根秀雄訳	昭3	一、〇〇〇
56	フロイド 日常生活に於ける精神病理 丸井清泰訳	昭26	一、〇〇〇
57	ペーオウルフ 厨川文夫訳	昭16	一、〇〇〇
58	ペーター 文芸復興 田部重治訳	昭14	一、〇〇〇
59	ベルグソン 物質と記憶 高橋里美訳	昭14	一、〇〇〇
60	ヘルン 東西文学評論 土谷義三郎他訳	昭8	一、〇〇〇
61	ポエナカレ 科学者と詩人 平中尚志訳	昭16	一、〇〇〇
62	ポエテイス 哲学の慰め 高木初之輔訳	昭25	一、〇〇〇
63	ポーマルシェ セヴィラの理髪師 進藤謙一訳	昭13	一、〇〇〇
64	ボクベン 洞窟絵画から連載漫画へ 寿彦文章他訳	昭56	一、六〇〇
65	ボプス 帝国主義論 矢内原忠雄訳 全1冊	昭60	一、五〇〇
66	ボンゼルス インド紀行 實吉捷郎訳 全2冊	昭18	一、五〇〇
67	ミュッセル マルゴ ミミ・パンソ 桜田 佐訳	昭14	一、〇〇〇
68	モリエール 人間嫌ひ 関口存男訳	昭3	一、〇〇〇
69	ヤーコプ ジャクリースと日本人 相良守泰訳	昭13	一、〇〇〇
70	ラスキ 近代国家における自由 飯坂良明訳	昭49	一、〇〇〇

71	ルキアーノス 神々の対話 茂俊一他訳	昭28	一、〇〇〇
72	スウヴェストゥル 屋根裏の哲人 木村太郎訳	昭25	一、〇〇〇
73	ルクセンブルグ 資本蓄積論 長谷部文雄訳 全3冊	昭60	一、五〇〇
74	ルクセンブルグ 資本蓄積再論 長谷部文雄訳	昭60	一、〇〇〇
75	ルナン 政治経済論 河野健二訳	昭42	五〇〇
76	ルナン イエス伝 津田穰訳	昭48	一、五〇〇
77	レスコーフ 魅せられた旅人 木村彰一訳	昭35	一、五〇〇
78	ロチ 氷島の漁夫 吉江喬松訳	昭8	六〇〇
79	ロチ お菊さん 野上豊一郎訳	昭8	五〇〇
80	ロテイ ロテイの結婚 津田穰訳	昭16	一、〇〇〇
81	ロラン トルストイの生涯 蛭原徳夫訳	昭41	一、〇〇〇
82	旧約聖書 エゼキエル書 関根正雄訳	昭49	一、〇〇〇
83	旧約聖書 エレミヤ書 関根正雄訳	昭49	一、〇〇〇
84	旧約聖書 サムエル記 関根正雄訳	昭49	一、〇〇〇
85	旧約聖書 十二小預言書 関根正雄訳 全冊	昭48	一、五〇〇
86	魯迅選集 佐藤春夫他訳 全冊	昭10	一、五〇〇
87	魯迅選集 上原六四郎	昭8	一、五〇〇
88	鹽鞍橋 鈴木正三著 鈴木木拙校訂	昭52	一、〇〇〇
89	明治維新史研究 羽仁五郎	昭56	一、六〇〇
90	古今和歌集 嘉禄本 尾上八郎校訂教科書版	昭11	二、〇〇〇
91	毛吹草 新村出校訂 竹内若校訂	昭18	四〇〇
92	風土記 武田祐吉編(印有)	昭17	三、五〇〇
93	東漕夫論 帆足萬里著 帆足凶南次校訂	昭16	一、五〇〇
94	花屋日記 芭蕉臨終記 小宮豊隆校訂	昭10	一、五〇〇
95	頼山陽詩抄 頼成一他訳註	昭19	一、五〇〇
96	下学集 元和本 亀井 孝校訂	昭19	一、五〇〇
97	傳心法要 黄裳断際禅师 宇井伯壽訳註	昭19	四〇〇
98	傳光録 堂山禅师 横関了胤校訂	昭19	五〇〇
99	阮籍の詠懐詩について 附阮籍伝 吉川幸次郎	昭56	一、二〇〇
100	町人叢・百姓叢・長崎夜話草 西川如見	昭60	一、〇〇〇
101	清沢文集 清沢満之 清沢満之著	昭60	六〇〇
102	日本の目覚め 岡倉寛三著 村岡博訳	昭15	五〇〇
103	左千夫歌論抄 斎藤茂吉他編	昭11	一、〇〇〇
104	左千夫歌集 斎藤茂吉他選	昭8	一、〇〇〇
105	西鶴織留 井原西鶴作 和田萬吉校訂	昭3	五〇〇
106	号外・少年の悲哀 国木田獨步	昭15	五〇〇
107	足迹 徳田秋聲	昭15	五〇〇
108	古典を読もう 岩波書店編	昭30	五〇〇
109	ストリントベルク 大海のほとり 齋藤响訳	昭15	一、五〇〇

〒604 京都市中京区寺町通三条北

其 中 堂

電話(〇七五)二三二二九七  
振替 京都 二二五二三八

- 1 日本宗教大講座 合冊復製本 四〇〇〇
- 1 真言宗各派小田慈舟41頁・金剛頂經概説梅尾祥雲50頁・大日經綱要金山穆詔90頁
- 2 真言宗明治沿革史概説大山公淳69頁・戒律長井真琴35頁・華嚴宗松原崇讓26頁・華嚴經の綱要金子大栄90頁・法相宗講説佐伯良謙57頁
- 3 浄土宗講説石井道徳106頁・浄土宗西山派講説三浦貫道36頁・融通念仏宗教義講説山上戒全64頁・時宗概要加藤美法53頁・天台宗真盛派講説岩田教園26頁
- 4 仏書刊行史禿氏祐祥56頁・首楞嚴經要義山上曹源84頁・俱舍論概説舟橋水哉57頁・仏所行讚平等通昭88頁
- 5 真宗講説梅原真隆34頁・真宗大谷派史要橋川正64頁・真宗高田派思想概説三井淳輝57頁・真宗各派史要目下無倫89頁・大無量壽經の宗義曾我量深22頁・阿弥陀經綱要杉紫朗100頁
- 6 勝鬘經概説常盤結城31頁・般若經の綱要椎尾弁尾38頁・楞伽經鈴木大拙50頁・西蔵伝唯識三十頌河口慧海説頁
- 7 梵網經田村飛鳥井49頁・阿含經赤沼智善44頁
- 8 天台声明の梗概多紀道忍59頁
- 9 仏教概論山辺習字70頁・日本仏教史藤原猶雪73頁・日本仏教史・三階教に就て矢吹慶雄25頁
- 10 日本宗教文学志出義秀67頁・宗教音楽出辺尚雄・修験道宇野圓空52頁
- 11 曹洞宗教概論岡田宜法11頁・黄蘗宗教義山田玉田30頁・日蓮宗講説高田忠忍62頁・顕本法華宗教義綱要井村成42頁・不受不施門流日蓮法華宗の教義概説花房日秀40頁
- 12 日本基督教概観宮崎小八郎120頁・日本基督教社  
会事業史生江孝之説頁・回教及回教問題23頁

〒602 京都市上京区烏丸通今出川上ル  
同志社正門前

沢 田 書 店

電話(〇七五)四五一一〇五二三  
振替 京都 三一九一四八

- 1 岩波講座哲学 全十八冊揃 函付 岩波書店 昭47 一八〇〇〇
- 2 歴史的世界 高坂正顯 岩波書店 昭18 一八〇〇
- 3 懺悔道としての哲学 田辺元 岩波書店 昭23 二五〇〇
- 4 國家に於ける文化と教育 木村素衛 岩波書店 昭21 一八〇〇
- 5 善の研究 西田幾太郎 函付 岩波書店 昭17 一三〇〇
- 6 思想と體驗正統 西田幾太郎 函付 岩波書店 昭16 一三〇〇
- 7 哲学論文集 第四卷 西田幾太郎 岩波書店 昭18 一三〇〇
- 8 歴史哲学 二木清 函付 岩波書店 昭7 一六〇〇
- 9 行為の全体的構造 島芳夫 岩波書店 昭19 一六〇〇
- 10 宗教哲学序論 波多野精一 岩波書店 昭23 一五〇〇
- 11 聖書原初神話学 レキブルル吉野説訳 創元社 昭21 一八九〇
- 12 日本基督教史 比屋根安定 教文館 昭24 三三〇〇
- 13 オリゲネス研究 有賀鉄太郎 全国書房 昭21 一三〇〇
- 14 アウグスティヌスの国 岩下社・岩波思想文庫 昭10 一三〇〇
- 15 キリスト神話考 木間瀬精三 鷺宮書房 昭44 一三〇〇
- 16 きりしたん文学集 山田野理夫 甲斐書林 昭17 一八〇〇
- 17 進歩と宗教カトリック双書ドウソン和訳 宗教と近代国家 ドウソン深瀬訳 弘文堂 昭21 一三〇〇
- 18 パスカル冥想録 完訳 由木康 函付 白水社 昭26 一五〇〇
- 19 明治國家の成立 大江志乃夫 函付 ミネルウア 昭34 一八九〇
- 20 日本中世史の研究 魚澄豊五郎 星野書店 昭19 一八〇〇
- 21 近世思想史研究 肥後和男 ふたら書房 昭18 一五〇〇
- 22 明治維新史研究 服部之總 三和書房 昭22 一三〇〇
- 23 仏國革命及ナポレオン時代史講和 齋藤猪太郎 明治書院 昭8 一八〇〇
- 24 史蹟の希臘 吉澤双叶 村田教之亮 大八洲出版 昭22 一五〇〇
- 25 歐洲の四季 角田文衛 研文館 昭25 一八〇〇
- 26 亜米利加之旅 鎌合経 三明社 昭15 一三〇〇
- 27 猶太と反猶太 長壽吉 カバー付 白水社 昭15 一八〇〇
- 28 實伝紀伊國屋左衛門上山勘太郎 明治書院 昭14 一三〇〇
- 29 二宮翁夜話味講 菅原兵治 理想社 昭37 一三〇〇
- 30 幼年時代青年時代の思ひ出 ルナン杉沢 フアブルの言葉 平野威馬雄訳 新汐社 昭17 一五〇〇
- 31 天皇家の饗宴 函付 秋徳会 昭55 一〇〇〇

〒606 京都市左京区田中里ノ前町55

福 田 屋 書 店

電話(〇七五)七八一一三二六  
振替 京都 八一四三三五六

- 1 近世紀聞 條野有人編 春陽堂 大15 一八〇〇
- 2 関址と藩界 歴史地理的解明 岩田孝三 昭37 一八〇〇
- 3 趣味の幕末秘史 小林博 大同館 昭6 一三〇〇
- 4 維新暗殺秘録 平尾道雄 民友社 箱 昭5 一八〇〇
- 5 幕末に御親兵問題他 高橋政清 抜刷5冊 昭13 四〇〇〇
- 6 明治政治史点描 尾佐竹猛 育生社 昭17 一五〇〇
- 7 小村寿太郎 黒木勇吉 箱入 昭17 一五〇〇
- 8 赤瀬武人報効事歴(長州奇兵隊総督) 昭17 一五〇〇
- 9 山田俊徳先生小伝(大阪志願校) 昭17 一五〇〇
- 10 近代伊吹山名勝記 中川泉三編(大坂志願校) 昭17 一五〇〇
- 11 正野法橋玄三製劑案内 昭17 一五〇〇
- 12 神戸史談 布引号 長田誌 全会 昭15 一七各二〇〇
- 13 猶太問題パンフレット 二冊 国際政経学会 昭18 一〇〇〇
- 14 國際秘密力とフリーメイソンリー解説 昭3 一〇〇〇
- 15 水平審判の日 栗須七郎 大阪水人社 昭6 一五〇〇
- 16 融和運動への通俗的批判に就て 藤範晃 昭2 一五〇〇
- 17 少年保護事業と宗教 大谷尊由 昭22 一五〇〇
- 18 学生社会運動史 菊川忠雄 海口書店 昭22 一五〇〇
- 19 安達安子先生(京女紅場 東京女高師) 昭22 一五〇〇
- 20 昭和八年京都市政の裏面 宗形金風 昭22 一五〇〇
- 21 東京地質調査第一回報告 地質院編 昭14 一五〇〇
- 22 博多織と松居織工場 松居庄次郎 昭14 一五〇〇
- 23 写真集わが聯隊 郷土歩兵聯隊の記録 昭54 九〇〇〇
- 24 孔孟聖蹟図鑑 一帙 馬場春吉編 昭15 三〇〇〇
- 25 セルバン 土田杏村追悼号 昭9 二〇〇〇
- 26 楠木正成 直木千五 初版 箱入 昭7 一五〇〇
- 27 あなのな 大阪掬水庵深楓 2・9号8冊 昭15 三〇〇〇
- 28 大阪無名会誌 10・13・18号 植山魏 昭26 二〇〇〇
- 29 楽譜映画主題歌東京行進曲 一校 日活帝國館 昭28 二〇〇〇
- 30 南座 堂本寒星 文献書院 昭12 一五〇〇
- 31 文部省展覧会 原色画帖 1・6奉祝展昭12、19、15各三〇〇〇
- 32 散人双書小門勝(一)荷風吉原細見。ふらんす物語夜話。新ふらんす物語。瀧東の荷風散人。各上下で 昭45 二五〇〇



## キクオ書店

〒604 京都市中京区河原町通三条上ル(朝日会館前)  
電話 075-231-7634 振替 京都 8-17640

## 服飾関係洋書特集

1. 月刊「髪型モード誌」 1873~74年分合本 48葉手彩色銅版、石版図版多数入  
BOUCHARD(A.) (ed.) LE MONITEUR DE LA COIFFURE, 1873-74. "Journal Mensuel de l'Art du Coiffeur foude en 1858". Paris, ¥350,000
2. フランス服飾史 手彩色図版21葉入  
CHALLAMEL(M.A.) THE HISTORY OF FASHION IN FRANCE; or, the Dress of Women from the Gallo-Roman Period to the Present Time. London, 1882. ¥70,000
3. CONTINI(M.) FASHION. from Ancient Egypt to the Present Day. London, 1965, illus, ¥13,000
4. ロシア帝国の服飾 手彩色銅版図版70葉入 フォリオ版  
COSTUME OF THE RUSSIAN EMPIRE. "English and French texts juxtaposed". London, 1810. ¥280,000
5. ハウストン 服飾技術史 全4冊 挿絵多数入  
HOUSTON(M.G.) A TECHNICAL HISTORY OF COSTUME. I, Ancient Egyptian. II, Ancient Greek. III, Medieval Costume in England & France. IV, Scottish Costume 1550-1850. 4 vols, London. ¥30,000
6. 「若い女性誌」 1849年号 手彩色銅版図版14葉入  
JOURNAL DES DEMOISELLES, augmente du Journal des Jeunes Personnes,.. Annees 1849. Brussel. ¥70,000
7. ケゼール ロマン主義時代の女性の化粧と小物図集 (1830-1850) 21木版図版映込  
KEEZER(R.) (illus.) LA TOILETTE FEMININE ET LES BIBELOTS DE L'EPOQUE ROMANTIQUE. Paris, ca. 1920. ¥65,000
8. 月刊「宮廷、上流界誌」 1831年 1月号~12月号 手彩色銅版画19葉入  
LA BELLE ASSEMBLEE, OR COURT AND FASHIONABLE MAGAZINE, January, 1831~December, 1831. Vol.XIII & XIV in 1. London, ¥180,000
9. 月刊誌「貴婦人の装い」 1848、1849年号 2冊合本 各号彩色銅版画及細部衣裳図入  
LE TRESOR DES DEMOISELLES. 1848, 1849. Paris, 12 pair hand-colored etching plates with detale illus. ¥150,000
10. 週刊「パリ風俗誌」 1877、1878年号 2冊合本 服飾風俗図、風刺戯画多数入、大判  
MARCELIN(ed.) LA VIE PARISIENNE. Moeurs Elegantes Choses du Jour-Fantaisies-Voyages, Theatres-Musique Modes. 1877 Janvier~1878 Decembre. 2 vols, Paris, ¥60,000
11. レースの歴史 初版  
PALLISER (M.B.) HISTOIRE DE LA DENTELLE. traduit par la Comtesse Gedeon de Clermont-Tonnerre. Paris, Firmin-Didot, 1892, 16 plates, 161 figures, ¥85,000
12. 婦人新服飾時報 1825~1835年号 5冊合本 手彩色銅版図版223葉入  
PETIT COURRIER DES DAMES, OU NOUVEAU JOURNAL DES MODES, des Theatres, de la Litterature et des Arts, 1825-1835. 5 vols, Paris, ¥550,000
13. プランシェ 服飾百科事典 2冊 彩色石版図版、挿絵多数入  
PLANCHE(J.R.) A CYCLOPAEDIA OF COSTUME OR DICTIONARY OF DRESS, 2 vols, London, 1897. ¥130,000
14. ラシネ 服飾史 全6冊 彩色石版図版多数入、モロッコ革美装幀  
RACINET(M.A.) LE COSTUME HISTORIQUE. 6 vols, Paris, 1888, 200 chromolithograph plates & some plates in gold or silver, contemporary red morocco back with gilt-illus & bands, full gilt. ¥650,000
15. 東洋服飾誌  
TILKE(M.) ORIENTAL COSTUMES. their Designs and Colors. ca. 1922, 128 color paltes, ¥85,000
16. VIOLLET-LE-DUC(M.) DICTIONNAIRE RAISONNE DU MOBILIER FRANCAIS. de l'Epoque Carlovingienne a la Renaissance. Vol,II-VI(lacking Vol,I), 5 vols, Paris, 1871-75, many chromolitho & mono plates, numerous steel- & wood-engrains, ¥85,000

## 紙魚の便り

◎当店の1987年版「特撰和洋古書在庫目録」(B5判写真頁入)を2月6日に発行。ご希望の方は500円(切手可)を添えてお申込下さい。

◎2月27日~3月1日、大阪グランドビルにて開催のABA J主催「世界の古書・日本の古書」展示大即売会に当店も出店します。(ブースNo. A7)

〒604 京都市中京区丸太町通千本西入南側

八木書店古書部

電話(〇七五)八一—一三八九〇

- 1 九江青根介画 大根之図一紙 梅逸門 安政元没 三、〇〇〇
- 2 東都名勝図絵亀井戸梅林之図砂目刷一紙 明27 二、〇〇〇
- 3 12月煤払い松行商之図一枚 別所藏印 享和元 三、〇〇〇
- 4 今村恒美画挿草稿一紙週刊朝日南部義士 昭10頃 八、〇〇〇
- 5 洛外詩仙堂主坐翁筆 詩箋一枚 明9 三、〇〇〇
- 6 色紙 豊岡隨實卿七言絶句勳王家病の為七郷落不参 三、〇〇〇
- 7 木版 西沢笛吹画 人形之図一紙 三、〇〇〇
- 8 棟方志功画 木版画 色紙一枚 三、〇〇〇
- 9 岸竹堂画 小品一紙 二、五〇〇
- 10 鑑定家 神田道伴筆 50両借金状一紙虫入 文久元 三、〇〇〇
- 11 木版画 亀井作 美人画 一枚 少しみ有 三、〇〇〇
- 12 黒田清綱筆 和歌一紙 めくり傷有 三、〇〇〇
- 13 別府雲子筆色紙形句画贊一紙伊勢白子の人 文化年 二、〇〇〇
- 14 西田春樹筆七言絶句小品一紙江戸南画家 明43没 二、〇〇〇
- 15 大徳寺大仙慈翁宗智和尚筆良匠正木為偶文一紙 三、〇〇〇
- 16 古市養蚕製糸伝習所伝習証一紙 三、〇〇〇
- 17 離屋立圃筆 俳句画贊一紙 傷物小品 三、〇〇〇
- 18 御室仁和寺坊官瀬庵祐憲筆 詩一紙 三、〇〇〇
- 19 源光山明石寺観音像 墨摺一紙 二、五〇〇
- 20 越前敦賀 大田源筆 買仕切書一紙 明治初 二、五〇〇
- 21 大和国八木松岡家文書一袋慶応3屋敷図面入 江江明治 三、〇〇〇
- 22 出し手形大和高田吉川筆 大和小楓岡本筆各一枚 明治 二、五〇〇
- 23 出し手形大和八木内国通運筆 八木深清筆各一枚 明治 二、五〇〇
- 24 出し手形大和仲治筆 大和魚合筆 大和生竹茂 各一枚 二、五〇〇
- 25 出し手形大和八木辰久筆 大和嶋治筆 各一枚 二、五〇〇
- 26 出し手形大和面系某筆 大和面堂京屋甚筆 各一枚 二、五〇〇
- 27 出し手形大和菅尾系平筆 大和菅尾木嘉筆 各一枚 二、五〇〇
- 28 出し手形大和岡原筆 大和高八万筆 各一枚 明治 二、五〇〇
- 29 地券一枚墨摺木版播州加古郡二見村 明9 三、〇〇〇
- 30 地券一枚墨摺木版和泉国堺泉郡大津村 明6 三、〇〇〇
- 31 近江国愛知郡井伊家領分畑田村文書一箱 元禄 三、〇〇〇
- 32 閑院宮載仁親王御筆 横物5字 五、〇〇〇
- 33 雪山陳入筆 南画一紙 めくり 傷有 五、〇〇〇

- 34 明治天皇御大葬絵巻 3紙后人竹洞門 明13没 五、〇〇〇
- 35 富取芳奇筆 南画一紙小品越后の人竹洞門 三、〇〇〇
- 36 観山 松本春情画 かの図一紙菅雪門小品 享和2 三、〇〇〇
- 37 尾州戸田村 米屋文書23通 明治初 五、〇〇〇
- 38 金ヶ森道西坊さんげ物語 写本 天保6 二、五〇〇
- 39 融通念仏神名帳一紙鞍馬寺大勧進沙門印施墨摺小紙 三、〇〇〇
- 40 蓮本願寺香樹院演説5冊於集会所 写本 嘉永 三、〇〇〇
- 41 東月尼帳 和歌一紙 小色紙 傷有 一、五〇〇
- 42 加茂季鷹筆 消息一紙 五、〇〇〇
- 43 梁川 榎本武揚筆 消息一紙海軍奉行 五、〇〇〇
- 44 大乗伊集院伊大隈大乗季子晶山塚中存述 弘化3 三、〇〇〇
- 45 古消息 18通 めくり 一、五〇〇
- 46 浄土和讃絵抄 上下2冊 安永5 五、〇〇〇
- 47 正像末和讃絵抄 上下2冊 文化8 五、〇〇〇
- 48 仏被禪語月舟面山兩師云々洛東行解庵写本 天保12 三、〇〇〇
- 49 画本唐詩選 2冊 一欠 天明8 三、〇〇〇
- 50 道しるべ西国33所并々々善光寺案内奥付欠 明和刊 五、〇〇〇
- 51 露園下千島樺太島交換条約紙通榎本ゴルチヤフ 明8 五、〇〇〇
- 52 札幌ノ根至電信分局通電信料左表之通布令書 二、〇〇〇
- 53 日本海軍軍艦名録萬國船信局信号告諭布令書 明8 五、〇〇〇
- 54 家禮図 日本刊 江戸初 三、〇〇〇
- 55 東京山学校令般別冊之通改正細則付布令書 明17 五、〇〇〇
- 56 沙石集 9冊 第一巻欠 正保4 六、〇〇〇
- 57 萬宝鄒事記 2冊 二冊器財硯墨筆紙文字外 宝永2 三、〇〇〇
- 58 新改正服忌令 写本 元禄8 二、五〇〇
- 59 長久手合戦記 写本 江戸末 二、五〇〇
- 60 新古今和歌集 上巻 古版 五、〇〇〇
- 61 綿砂糖共進会規則別冊之通相定候布令書 明12 三、〇〇〇
- 62 商標条例別冊之通制定施行并登録手續布令書 明17 五、〇〇〇
- 63 九州沖繩聯合共進会規則別冊之通相定候布令書 明17 五、〇〇〇
- 64 町村会規則左之通相定候 布令書 明17 二、五〇〇
- 65 諸村書入實規則并売買譲渡規則別冊之通相定候 明 五、〇〇〇
- 66 佐賀県布入規則 一括 明17 八、〇〇〇
- 67 正像未知識之弁釈并歎異抄之釈説 写本 江戸末 三、〇〇〇
- 68 浄土釈疑集 四冊揃 釈疑空 宝永8 八、〇〇〇
- 69 往生論註 上下2冊 曇鸞註解 寛文9 三、〇〇〇
- 70 註浄土十疑論上下2冊 天台智者大師説 元禄8 三、〇〇〇
- 71 浄土真宗 興御書述 本末2冊 寛政7 三、〇〇〇
- 72 浄土文類聚抄入出二門偈愚抄 合本 寛永13 三、〇〇〇

- 73 大乘百法明門論講義 香月院述 写本 江戸末 二、五〇〇
- 74 冠導八宗綱要上下四冊東大寺凝然述 明21 三、〇〇〇
- 75 菩提達磨略辨大乘入道四行觀弟子曇琳序永福演説 明和5 二、五〇〇
- 76 冠導傍訓 天台四教儀 義水智泉 明21 二、〇〇〇
- 77 建仁開山千光祖師塔銘和解 高峯禪師 明22 二、〇〇〇
- 78 安心評義辨 佐々木徹周大講義 眞宗 明14 二、〇〇〇
- 79 安心決定集閑居詠草 合本 浄土宗 明 二、〇〇〇
- 80 黄檗山諸堂聯詠 墨摺八丁 江戸末 二、〇〇〇
- 81 仏説三部經典 五行 折帳小本浄土宗 享和元 三、〇〇〇
- 82 涅槃像隨文略讚 中下2冊 宝曆後刷 二、〇〇〇
- 83 田舎源氏 初編 種彦 草双紙 明15 二、五〇〇
- 84 因明活眼 上下2冊 三河雲英異耀 明17 二、〇〇〇
- 85 謡曲拍子初歩 大倉六蔵 明36 二、五〇〇
- 86 続蔵徑目録 商務印書館印行 大元 三、〇〇〇
- 87 句集 耕雨遺稿 伊勢山田市河崎町同門会 大3 二、五〇〇
- 88 萬葉集美夫君志 四冊揃 木村正辞 初版 明34 三、〇〇〇
- 89 大勢至門通意科解 浄福寺惠空考之 延宝7 二、〇〇〇
- 90 入出二門偈大意 釈慧然述 元文4 三、〇〇〇
- 91 新拾遺和歌集貞治3 為明選動13代集の内 江戸初 三、〇〇〇
- 92 加賀騷動実録 天地人2冊 写本 文政6 三、〇〇〇
- 93 天一坊実記 銅版 小本 明29 三、〇〇〇
- 94 太平秘記 下巻 巻11 15大尾 写本 天保4 二、〇〇〇
- 95 太閤記 写本一 15冊浅井朝倉信長和睦迄 江戸末 八、〇〇〇
- 96 奥州白河根笹之雪 上下2冊 写本 江戸末 五、〇〇〇
- 97 鹿と生訓 写本 江戸末 二、〇〇〇
- 98 應てき問答 并由来物語 写本 江戸末 二、〇〇〇
- 99 三休老人生死辨大虫入侍者輩鬚髯誌写本 江戸末 二、〇〇〇
- 100 筆法六義抄 写本 寛政3 二、五〇〇
- 101 切支丹宗門来朝伝記 上下合本 大虫入 文政5 二、〇〇〇
- 102 日本沙路之記 大虫入 ポロ 写本 天保12 二、五〇〇
- 103 案方附方七名八味 芭蕉口入 写本 江戸末 二、五〇〇
- 104 蜜やしない草 写本虫入 文政10 二、五〇〇
- 105 敷春園翠雨選王生寺奉納句集 宗匠は医師肉筆 明38 五、〇〇〇
- 106 馬田江公年選肉筆句集 大阪の宗匠 明治末 三、〇〇〇
- 107 妖快学講義 合本6冊揃井上門了講述 明29 三、〇〇〇
- 108 通俗漢楚軍談 写本一 14冊大虫入ポロ 江戸末 七、〇〇〇
- 109 梅之与四兵衛物語梅花春水3冊 巻2欠 文政9 三、〇〇〇
- 110 切支丹宗門来朝伝記 上下合本大虫入 文政5 二、〇〇〇
- 111 古版史記列伝巻31 130迄内61 65迄破れ 一五、〇〇〇

赤尾照文堂

電話(〇七五)二二二一五八八  
振替 京都 五一三三二六

〒604 京都市中京区河原町通六角下ル

Table with 3 columns: Item No., Title/Author, Price. Contains 104 numbered entries including 'フランス古典劇の形成', '詩と詩論', 'バルザック研究', etc.

# 禪門公案大成全集 全11巻

乙部魁芳編著

古來禪門に行われた有名な公案をはじめ、仏祖門から宇宙・動植物にいたるまで5515の公案を集大成し、内容別に分類。扱いやすい11分冊。

揃価32000円

# 禪問答

清泉芳巖著

先達は如何にして解脱への道を行んだのか——。難解難入といわれる禪話をわかりやすく味わい深い7編にまとめ、禪の本領を説きあかす。

定価7500円

# 徳一論叢

田村晃祐編

奈良末から平安期にかけての名僧徳一についての論著を「生涯」「思想・信仰」「最澄との論争」「著作」に分けて集成。関連諸資料も豊富に収録。

定価12000円

\*小社の書籍は注文制です。書店にご注文下さい。国書刊行会 〒170 東京都豊島区巣鴨3-5-18 電話03(917)8287

一郷正道著

## 中観莊嚴論の研究

—シャーナンタラクシタの思想—

A5判 七八〇頁 別巻共 一八、〇〇〇円

インド後期中観派の巨匠シャーナンタラクシタの  
主著「中観莊嚴論」に対する初の本格的文献研  
究。中観・唯識・仏教論理学の核心に光をあて  
る著者長年の労作。

ツオンカバ著 ツルタイム・ケサン・小谷信千代共訳

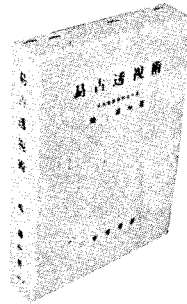
## アーラヤ識とマナ識の研究

B5判 二五〇頁 八、〇〇〇円 〒三〇〇円

アーラヤ識・マナ識の問題点を攝大乘論にもと  
づいて解明する。チベットにおける唯識思想の  
研究書。

## 文栄堂書店

〒604 京都市中京区寺町通三条上る  
TEL (075) 231-4712  
振替 京都 8-2948



絶賛好評!

人生の導引書、遂に世に出る。

カードの妙

日本推理学会会長  
嶋謙州著

定価二、八〇〇円  
送料三三〇円

内容  
見本  
進呈

カード見本

体裁B6版  
本文二二四頁  
附易占カード六十四枚  
特別あつらえ



(新開発考案)

## 新刊 易占透視術

好評発売!

## ①健康 ②感謝 ③思いやりの 三密堂書店

〒600 京都市下京区寺町通仏光寺  
TEL (075) 351-9663 振替京都 4-3471番

# 京華要誌・新撰京都叢書

## 第九回配本

●洛中・洛外の名所旧蹟を網羅 刊行当時の祭礼の有様や名勝・寺社の由来、本尊・祭神や収蔵の宝物の数々、建造物の結構に至り詳しい解説を加えると共に、明治中期の京都の町の様子が伺える貴重な資料。両丹や宇治山城地方の案内をも付す。〈明治28年刊の復刻〉

A5判・10ポ二段組・本文四三〇頁・付図5枚・挿絵多数

一月末刊行 定価 九、四〇〇円

# 郷土と美術

自創刊号―至第四八号  
昭和14年4月〜同18年10月

●両丹の地方史研究誌 待望久しい戦前から戦中発行停止に至るまでの分を復刻。編集主幹に澤村秀夫、当時の寄稿陣には永濱宇平、糸井仙之助、山本文顕、四方源太郎らをむかえ、多岐にわたる内容を盛った、両丹地方史研究に欠かせない良質の資料。 合本二冊 A5判 本文一五八頁・写真一四〇頁 全2冊揃定価一四、〇〇〇円

# 金澤文庫研究

自創刊号―至二三五号  
昭和30年5月〜同50年12月

●中世研究に不可欠な文献 東国の正倉院といわれる金沢文庫、並びに学山称名寺の、国宝・重文を含む膨大な資料を紹介・研究。従来入手しがたかった書。合本八冊 B5判 全八冊揃定価二〇、〇〇〇円

# 山形市史 通史編

山形市市史編纂委員会編 全三冊  
昭和46〜50年刊の復刻

山形の歩みを刻明に記し、数多の郷土史の中でも高い評価の書。A5判 上巻(原始・古代・中世編)五三頁 中巻(近世編)二五五頁 下巻(近代編)三二頁 全3冊揃定価 四一、〇〇〇円

# 宇治山田市史

宇治山田市編  
昭和4年刊の復刻

伊勢神宮の門前町、宇治山田市(現伊勢市)の全貌を捉えるとともに、伊勢神宮、ひいては神道の研究にも欠くことのできない級の資料。図版多数収録。A5判・一紙・六六頁 全2冊揃定価 二五、〇〇〇円

### 臨川書店刊

〒606 京都市左京区今出川通川端東入50M TEL (075)721-7111  
〒101 東京都千代田区神田駿河台2-11-16 TEL (03) 293-5021  
〒530 大阪府北区芝田1-6-2阪急古書のまち TEL (06) 374-1300

## 好評配本中!

# 萬象録

### 高橋常庵日記 全九巻

〔既刊〕第一・二巻  
大濱徹也・鎌倉功夫・簡井絏一校訂  
本書は、『大正名器鑑』『大正茶道記』を遺した『近代茶道鼓吹の第一人者』高橋常庵(義雄)の明治45年5月〜大正10年6月までの政治・経済・文化・美術・芸能その他の多岐にわたる話柄を満載した一大メモワールです。最終巻に索引と解説を付す。

●A5判・平均三三〇〜五〇〇頁/平均定価七、五〇〇円

# 明治文化と西洋人

●重久篤太郎著作集  
日本英学会創立以来のメンバーであり、永年、英学をはじめとする洋学史研究に携わり、『日本近世英学史』『お雇い外国人』などをものした著者の諸論文のうち、種々の雑誌・紀要などに発表され、未だ公刊されていないものを中心に一冊にまとめた。I 明治文化と西洋人 II 書物と文学 III 日本英学史上の同志社 IV 英語教育 V 小品 ―人々― と思いつく。付・略年譜・論文目録

●A5判・四〇〇頁/定価九、八〇〇円

## 近刊

# ザ・ヤトイ

お雇い外国人の総合的研究  
INTERNATIONAL SYMPOSIUM・FUKUI CONFERENCE

お雇い外国人が明治維新前後の日本の近代化に果たした役割は計り知れないものがあり、本書は今日の視角からお雇い外国人の役割を見直し、現代に及ぼした影響などを究明し、あわせて国際学術文化の交流発展のために一九八五年三月、福井大学において開かれた「第二回ザ・ヤトイ国際シンポジウム福井大会」の成果をまとめたもので、講演三篇のほか十八篇を収録した。

●B5判変・三三〇頁/定価六、三〇〇円

# 宮崎圓遵著作集

### 全七巻

戦後の真宗史研究の指導的役割を果たした著者の諸論文を、五分野全七巻に収め、各巻末に解説を付す。

〔既刊〕第一巻・親鸞の研究(上)／第二巻・親鸞の研究(下) 千葉乗隆解説 定価(各)六、二〇〇円

〔近刊〕第三巻・中世仏教と庶民生活 日野昭解説 定価六、五〇〇円

〔続刊〕第四巻・真宗史の研究(上)／第五巻・真宗史の研究(下)／第六巻・真宗書誌学の研究／第七巻・仏教文化史の研究 定価六、五〇〇円

●A5判・四〇〇〜五〇〇頁/平均定価六、八〇〇円

# 大燈国師語録

### 平野宗浄著

●A5判・総一〇〇〇頁/定価一八、〇〇〇円(全二冊)

●A5判・四二〇頁/定価八、五〇〇円

# 最新 禅宗文化史の研究

### 桜井景雄著

### 思文閣出版

京都市本  
東区支社

〒606 京都市左京区田中関町2-7  
〒101 東京都千代田区三崎町2-20

(075)751-1781  
(03)263-6348

〔呈内容見本〕